

HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査

報告書

(平成 26 年度)

厚生労働科学研究費補助金

エイズ対策研究事業 (エイズ対策実用化研究事業)

HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究

研究代表者

加藤 真吾 (慶應義塾大学医学部)

研究分担者

今井 光信 (田園調布学園大学)

1. HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査 (H26 年度)

研究分担者	今井光信	(田園調布学園大学)
研究協力者	近藤真規子	(神奈川県衛生研究所微生物部)
	佐野貴子	(神奈川県衛生研究所微生物部)
	大野理恵	(神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班)
	岡部英男	(神奈川県衛生研究所)
	須藤弘二	(慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室)
	加藤真吾	(慶應義塾大学医学部微生物部・免疫学教室)

研究概要

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、また、その充実を計るため、全国の保健所等 HIV 無料匿名検査実施施設を対象とした HIV 検査相談の検査・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

また本年度は、「梅毒の新たな検査手法の開発等に関する研究」班との共同研究として、保健所における梅毒検査の実施状況を把握するため、梅毒検査に関するアンケート調査も同時に実施した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象とした 577 箇所（保健所及びその支所等）中、469 施設（81%）から回答を得ることができた。アンケート結果では、平成 26 年の 1 年間に、回答の得られた 467 施設で 94,419 件の HIV 検査が実施され、231 件（0.24%）が陽性であった。陽性 231 件中 215 件（93%）が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、188 件（81%）については、その後医療機関に受診していることが保健所等において確認されていることが分かった。また、感染症法に基づく届出に関しては、平成 26 年に陽性と分かった 231 件中の 132 件（57%）については自施設からの報告が行われていることが分かった。

即日検査の実施状況に関しては、平成 26 年に即日検査を実施した保健所は 323 施設（69%）と昨年とほぼ同じであった。また夜間・土日検査に関しては、平日夜間検査が 165 施設（35%）で、土日検査が 70 施設（15%）と、昨年と比べ土日検査が微増した。全国的にみると検査相談の実施形態に関してはこの数年ほぼ定常状態にあることが分かった。

梅毒検査に関しては、保健所における梅毒検査体制に関するアンケート調査に HIV 検査事業と一緒に梅毒検査を行っていると感じた保健所は 308 施設で、それら施設で平成 26 年（1 月 - 12 月）に実施された梅毒の検査総数は 49,335 件、陽性は 698 件（1.4%）であった。梅毒の即日検査に関しては、実施しているのは 61 保健所であった。梅毒検査の検査時間帯に関しては、97.1%と、そのほとんどが HIV 検査と同時間帯に実施していた。結果返しに関しては、2 日から 1 週間が 165 件（54%）と最も多く、1 週間から 2 週間が 84 件（27%）、即日が 57 件 19%であった。

保健所以外の特設の検査相談施設を対象としたアンケート調査では、対象とした 23 施設中 18 施設から回答が得られ、平成 25 年の 1 年間の検査件数は 23,926 件で陽性件数は 147（0.6%）であった。この中で陽性の結果を本人に伝えられたのは 138 件（94%）、その後医療機関に受診したことを確認できた件数は 124（84%）であった。

本年度も、平成 25 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査で妊婦の HIV 検査相談があったと回答のあった保健所 50 箇所に対して調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯について追加の調査を行った。

その結果、保健所で HIV 検査を受けた事例が 30 例確認できた。保健所で検査を受けた理由としては、基本的には HIV 感染に対する心配によるものであったが、他の性感染症に感染していたためが 3 例、医療機関では有料となるが保健所は無料であるためが 3 例、医療機関で勧められたが 2 例であった。本年度の結果においても、保健所が妊婦の感染不安に対応するための HIV 検査相談検査機関として一定の役割を果たしていることが確認できた。妊婦における HIV 感染の状況や保健所及び産科医療機関における妊婦の HIV 感染不安への対応について、今後ともアンケート等により状況を把握し注視していく必要があると思われる。

また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知に関しては、昨年度には HIV 検査と STI 検査等で 5 件と多数の誤通知事例があったため、昨年度本報告書において、誤通知例の概要、原因等を報告し、その防止策の強化に関する注意喚起に努めたが、本年度は、幸い誤通知例の報告は 0 件であった。 昨年の誤通知例に関する情報を共有し、各施設で誤通知防止のための対策を徹底した成果と思われるが、今後も誤通知等の発生防止に向けて継続した努力と注意喚起が必要である。

A. 目的

保健所等における HIV 検査体制の実状を経年的に把握し、その充実を計るため、全国の保健所等を対象に HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

また、本年度は保健所における梅毒検査の実施状況を把握し、HIV/STI 検査事業の充実に資するため、梅毒検査に関するアンケート調査も同時に実施した。

B. 方法

全国の保健所およびその支所等 577 箇所の HIV 検査相談施設を対象にと南新宿 HIV 検査相談施設等 23 箇所の特設 HIV 検査相談施設を対象に、平成 27 年 1 月 5 日に HIV 検査相談 (H26 年) に関するアンケート調査票を郵送し、平成 27 年 1 月 23 日を締め切り日として、返送用封筒によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

なお、本年度は、「梅毒の新たな検査手法の開発等に関する研究」班との共同研究として、全国保健所を対象に梅毒検査に関するアンケート調査表を同時に送付し、梅毒検査に関するアンケート調査も実施した。

また、平成 25 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査に回答した保健所・支所等 493 施設のうち、

設問 2. ④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所 50 箇所に対して調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯について調査した。

C. 結果

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 577 施設中 469 施設からアンケート結果が返送され、アンケートの回収率は 81%であった。また、特設検査相談機関については、対象とした 23 施設中 18 施設 (78%) からアンケート結果を回収できた。

① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった 469 保健所等施設の中で 467 施設とほとんどの施設が HIV 検査相談を実施していた。

② HIV 検査総数と陽性率

上記 467 保健所等施設で平成 26 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 94,419 件で、陽性は 231 件 (0.24%) であった。

③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率 (図 2、3)

HIV 検査陽性の 231 件において、受検者が陽性の確認検査を受け取りに再来所したのは

215 件 (93%) であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 182 例であり、陽性結果を伝えられた 215 件中の 85%、全陽性 231 件中の 79%であった。

④ HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、平成 26 年に陽性と分かった 231 件中の 131 件 (57%) については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査と同時に行っている性感染症検査に関しては 400 施設 (86%) の保健所等で実施しており、その内訳は、梅毒検査 310 施設 (78%)、クラミジア抗体 180 施設 (45%)、クラミジア抗原 106 施設 (27%)、淋菌 41 施設 (10%)、B 型肝炎 298 施設 (75%)、C 型肝炎 289 施設 (72%) であった。梅毒検査及び B 型肝炎と C 型肝炎のウイルス検査に関しては、70%を上回る施設で実施されていることが分かった。

⑥ 梅毒検査体制に関するアンケート結果

保健所における梅毒検査体制に関するアンケート調査に HIV 検査事業と一緒に梅毒検査を行っている と答えた保健所は 308 施設で、それら施設で平成 26 年 (1 月 - 12 月) に実施された梅毒の検査総数は 49,335 件、陽性は 698 件 (1.4%) であった。梅毒の即日検査に関しては、実施しているのは 61 保健所であった。

梅毒の検査時間帯に関しては、97%と、そのほとんどが HIV 検査と同時間帯に実施していた。

結果返しに関しては、2 日から 1 週間が 165 件 (54%) と最も多く、1 週間から 2 週間が 84 件 (27%)、即日 が 57 件 19% であった。

⑦ HIV 即日検査の実施状況

即日検査のみ実施している施設が 195 施設 (42%)、即日検査と通常検査を行っている施設

が 128 施設 (27%)、通常検査のみ行っている施設は 144 施設 (31%) であり、69%の施設が即日検査を導入しており、これら割合は、昨年とほぼ同じであった。

⑧ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

HIV 検査相談を実施している全国 467 保健所で、平日・昼間にのみ検査を行っている保健所が 232 施設 (50%)、平日夜間検査を行っている保健所が 165 施設 (35%)、土曜・日曜検査を行っている保健所が 70 施設 (15%) であり、土日検査は昨年に比べわずかながら増えていた。

⑨ 検査法と実施時間の組み合わせ

検査法と実施時間との組み合わせでは、通常平日の検査は 112 施設 (24%)、通常夜間が 30 施設 (6%)、通常土日が 2 施設であり、即日平日が 83 施設 (18%)、即日夜間が 80 施設 (17%)、即日土日が 32 施設 (7%) であり、両検査平日が 37 施設 (8%)、両検査夜間が 55 施設 (12%)、両検査土日が 36 施設 (8%) であった。これらの結果から、多くの検査施設が昨年同様、より利便性の高い検査相談の提供に努めていることが分かった。

⑩ 年間検査件数別の保健所分布

年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 157 箇所 (34%)、50 件以上 100 件未満は 87 箇所 (19%)、100 件以上 200 件未満は 93 箇所 (20%)、200 件以上 500 件未満は 88 箇所 (19%)、500 件以上 1000 件未満は 29 箇所 (6%)、1000 件以上は 13 箇所 (3%) であった。

⑪ 年間検査件数別の保健所数とその検査数

年間検査件数が 200 件以上の保健所数は 130 箇所 (28%) であったが、そこで実施された検査件数は検査総数の 70861 件で全検査数 94419 件の 75%を占めており、また、年間 500 件以上の施設は 42 件 9%であるが、それら施設における検査数は全検査数の 46%を占めていた。一方、年間検査数が 100 件以下の保健所が保健所数では 52%となるが、その合計検

査数は全検査数の10%であった。

⑫ 年間検査件数別の陽性率

保健所等のHIV検査相談における陽性率は、平均では0.24%であり、年間検査数別に調べると、検査数50件未満の保健所では0.16%、検査数50-99件の保健所では0.18%、100-199件の施設では0.23%、200-499件の施設では0.23%、500-999件の施設では0.21%、1000件以上の施設では0.28%と、検査数の多い施設では陽性率も高いという傾向がみられた。

⑬ 予約制の有無

予約制の有無に関しては通常検査の実施施設の57%、即日検査の実施施設の80%が予約制を実施しており、またその場合、通常検査では40%、即日検査では73%が上限をもうけていた。

⑭ HIV検査（スクリーニング検査と確認検査）の実施施設

通常検査における、スクリーニング検査の場合、自保健所での実施が20%、他の保健所への委託が12%、衛生研究所への委託が38%、外部委託による検査は31%であった。また、確認検査に関しては、衛生研究所への依頼が46%で、外部委託は25%であった。即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が64%、医師、保健師が18%であった。

⑮ スクリーニング検査陽性後の通知と確認検査について

通常検査の場合には、スクリーニング検査陽性の場合には確認検査を引き続き実施し、受検者には、確認検査後の結果を通知するが218施設（80%）と最も多く、スクリーニング検査の結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行う施設は22施設（8.1%）と少なかった。

即日検査の場合、スクリーニング検査陽性の場合には、後日確認検査の結果を伝えることになるが、確認検査に使用する検体については、迅速検査の残血液で行うが208施設（64%）と最も多く、迅速検査用と同時に確

認検査用血液も予め採血する施設が53施設、陽性後に再採血するが8施設であった。

⑯ 確認検査の方法について

確認検査の方法については、WBのみが154施設（33%）二次スクリーニングとWBが146施設（31%）、WBとNAT法の組み合わせは142施設（30%）であった。

⑰ 結果説明について

結果説明の担当者（複数回答可）に関しては、陰性時には医師が44%、保健師が71%であり、迅速検査陽性時には、医師が86%、保健師が78%で、確認検査陽性時には99%とほぼ全ての施設で医師が担当し、76%では保健師も加わっていた。また、感染予防のための行動変容を働きかける相談に関しては、91%の施設において行われており、79%では全員に、20%の施設では一部を対象に行われていた。陽性者への説明に関しては、全施設の79%で説明資料を用意してあるとの回答であった。陽性者への説明のマニュアルについては66%の施設でありとの回答であった。

⑱ 特設検査相談施設における検査相談

18箇所の特設検査相談機関での検査総数は23,926件で、陽性例は147例（0.6%）であった。これら陽性例において、受検者が陽性の確認結果を受け取りに再来所したのは138例（94%）であった。

また、この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は124例であり、陽性結果を伝えられた138例中の90%、全陽性例中の84%であった。

⑲ HIV等の検査結果の誤通知について

昨年はHIV等の検査結果の誤通知事例が5件（検査結果の記入ミスが2例、別の受検者の結果を伝えるミスが3例）あったが、本年は誤通知事例の報告は0であった。昨年の誤通知に関する情報を共有し、その教訓を生かした誤通知防止対策に取り組み、検査相談に関わる担当者一人ひとりが細心の注意を継続することで、本年度は誤通知事例が0となっ

たものと思われる。

② 妊婦 HIV 検査に関する 2 次調査

平成 25 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査に回答した保健所・支所等 493 施設のうち、設問 2. ④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所 50 箇所に対して調査票を送り、39 箇所(79%)から回答があった。事例数としては 37 例(相談のみ事例 7 例、検査のみ事例 10 例、相談+検査事例 20 例)であった。保健所で検査を受けた理由としては、基本的には HIV 感染に対する心配によるものであったが、他の性感染症に感染していたためが 3 例、医療機関では有料となるが保健所は無料であるためが 3 例、医療機関で勧められたが 2 例であった。

D. まとめと考察

平成 20 年をピークに、その後は新型インフルエンザ、東日本大震災等の影響もあり、国民全体の HIV への関心が下がり、保健所等における HIV 検査相談数も平成 21-22 年と大きく減少したが、その後は横ばい傾向が続いており、今回(H26 年度)の保健所アンケート調査においてもわずかながら前年に比べ増加したが、ほぼ横ばいの状況が続いていることが分かった。

今回行った全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所の協力により、対象とした 577 保健所等施設の 81%、469 施設から回答を得ることができた。

アンケート結果では、HIV 検査を実施している全国 467 施設で、平成 26 年に 94,419 件の HIV 検査が実施され、そのうち 231 件(0.24%)が陽性であった。陽性例のうち、215 件(93%)が再来所して陽性の結果を受け取っており、188 件(81%)については、その後医療機関を受診していることが保健所において

確認されていることが分かった。検査数は昨年に比べやや増加し、医療機関に繋がったことの確認ができた率も昨年に比べ上昇がみられた。

また、HIV 検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査や夜間、土日検査等受検者に利便性の高い時間帯の検査を多くの施設で実施しており、通常検査で平日昼間のみの保健所は全体の 24%と少なかった。

本年度も、平成 25 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査で妊婦の HIV 検査相談があったと回答のあった保健所 50 箇所に対して調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯について追加の調査を行った。その結果、保健所で HIV 検査を受けた事例が 30 例確認できた。保健所で検査を受けた理由としては、基本的には HIV 感染に対する心配によるものであったが、他の性感染症に感染していたためが 3 例、医療機関では有料となるが保健所は無料であるためが 3 例、医療機関で勧められたが 2 例であった。妊婦は産科医療機関において HIV 検査を受ける機会があるが、HIV の感染不安から保健所での検査・相談を希望する例が毎年、少なからずあり妊婦の場合においても、保健所が、その感染不安に対応するための HIV 検査相談検査機関として一定の役割を果たしていることが確認できた。妊婦における HIV 感染の状況や保健所及び産科医療機関における妊婦の HIV 感染不安への対応について、今後ともアンケート等により状況を把握し注視していく必要があると思われる。

また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知に関しては、昨年度は HIV 検査と STI 検査等で 5 件と多数の事例があったため、昨年度報告書においては、誤通知事例の概要、原因等を報告し、その防止策の強化に関する

注意喚起を行った。本年度は幸い誤通知に関する事例報告は0であった。誤通知事例に関する情報を共有し、各施設で誤通知防止のための対策を徹底した成果と思われるが、今後も誤通知等の発生防止に向けて継続した努力と注意喚起が必要である。

謝辞

保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所等関係者の皆様方に深く感謝致します。

E. 研究発表

論文発表

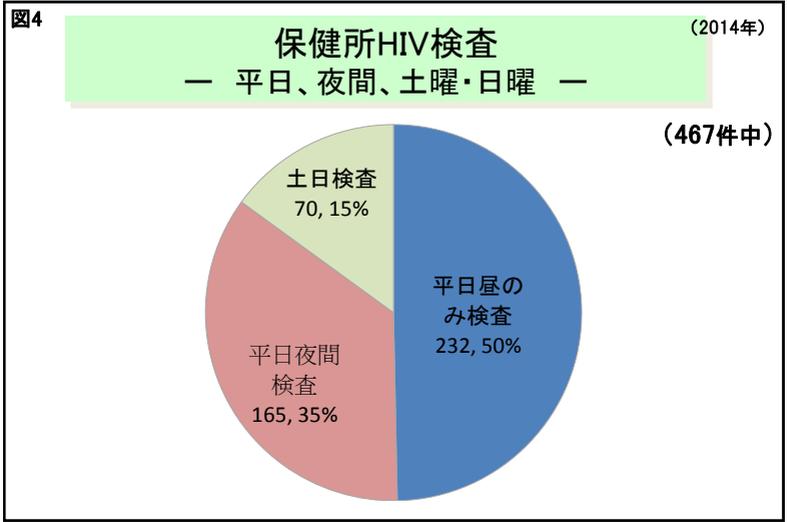
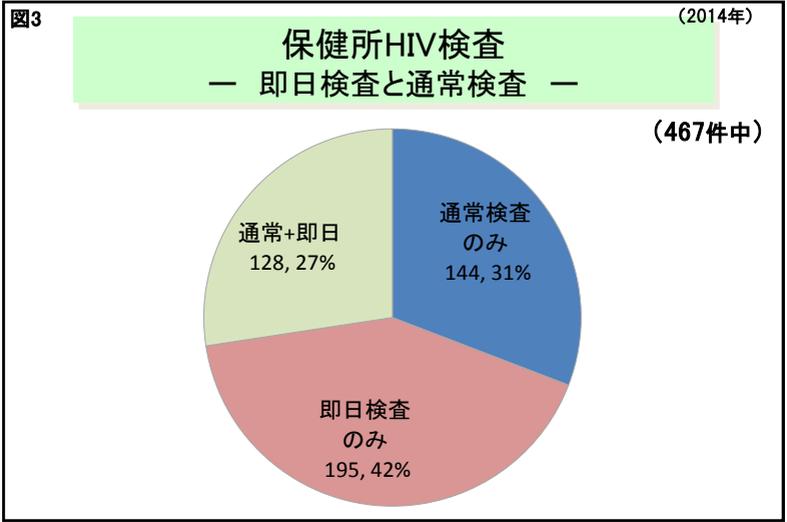
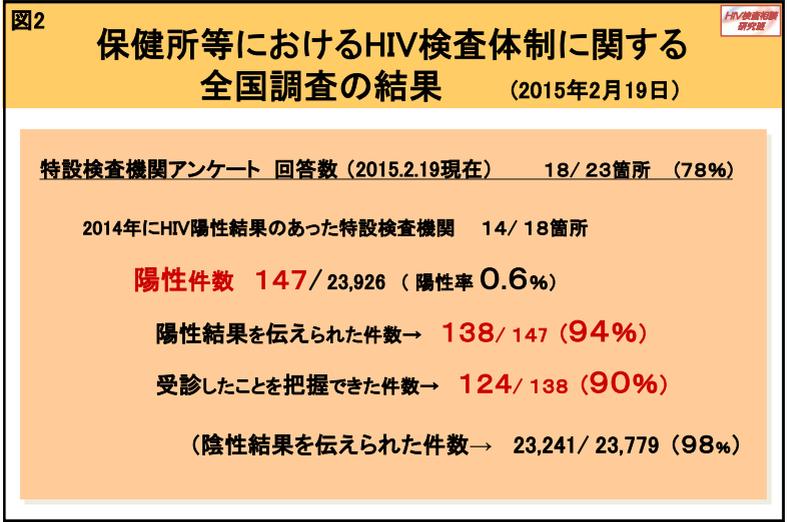
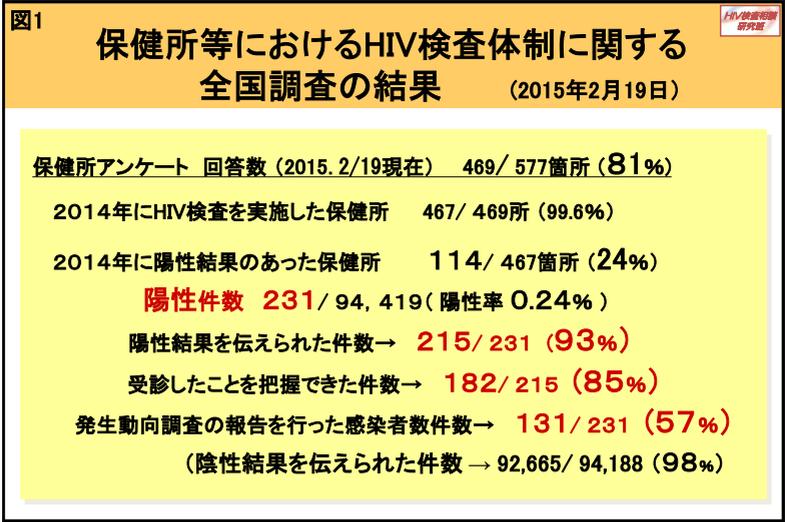
1. 矢永由里子、今井光信、加藤真吾. 研修事業の取り組み：研修をデザインすること. 日本エイズ学会誌、16 (3)、185-193、2014.

学会発表

1. 佐野貴子、加藤真吾、今井光信. 保健所等無料 HIV 検査施設における HIV 検査相談の実施状況調査. 第 73 回日本公衆衛生学会総会. (平成 26 年 11 月 5 日-11 月 7 日, 栃木)
2. 佐野貴子、山田里佳、矢永由里子、近藤真規子、塚原優己、今井光信、加藤真吾. 保健所の HIV 検査相談を利用した妊婦の受検動機等に関する調査. 第 28 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日, 大阪)
3. 佐野貴子、近藤真規子、岡部英男、須藤弘二、加藤真吾、今井光信. 保健所および自治体特設 HIV 検査施設における HIV 検査相談の実施状況について. 第 28 回公衆衛生情報研究協議会研究会. (平成 27 年 1 月 29 日-30 日, 栃木)
4. 近藤真規子、佐野貴子、椎野禎一郎、井戸田一朗、山中晃、岩室信也、吉村幸浩、立川夏夫、今井光信、武部豊、加藤真吾.

日本で検出した HIV-1 組換え型流行株の解析. 第 28 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日, 大阪)

5. 須藤弘二、藤原宏、佐野貴子、近藤真規子、井戸田一朗、今井光信、長谷川直樹、加藤真吾. 次世代シーケンサーを用いた HIV 感染時期推定法の研究. 第 28 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日, 大阪)
6. 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2013). 第 28 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日, 大阪)



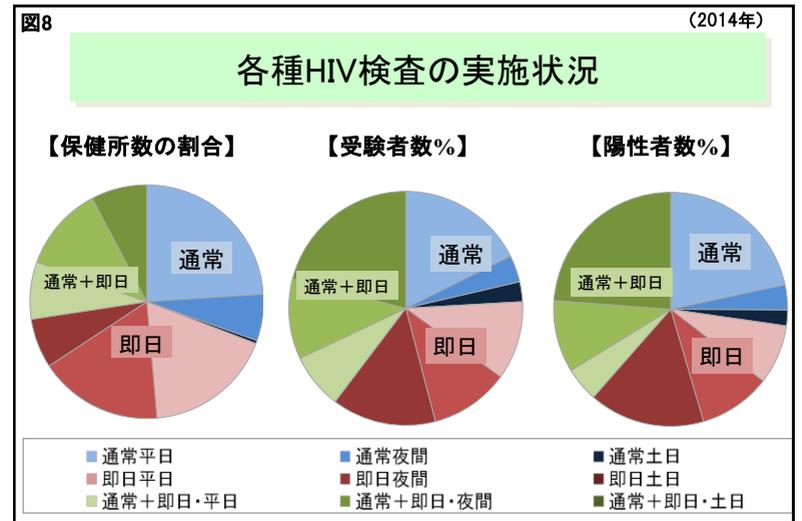
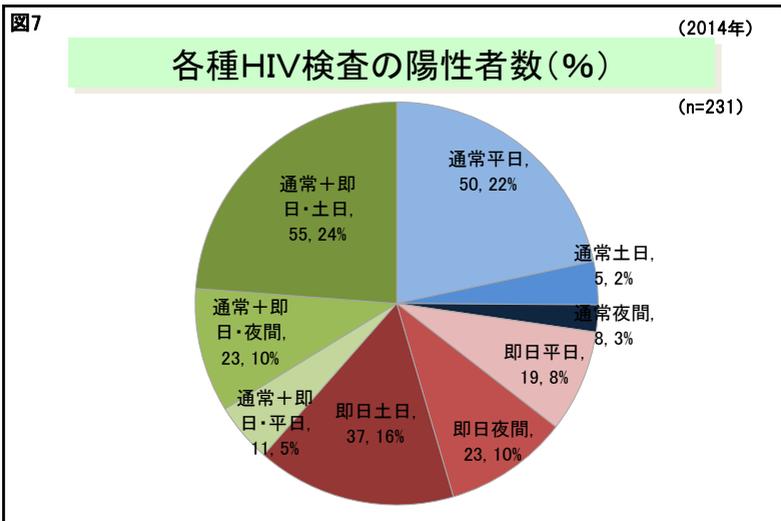
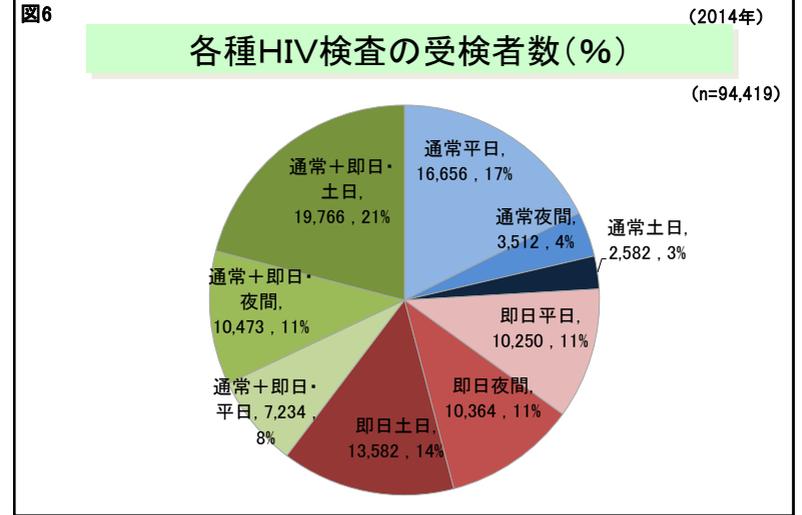
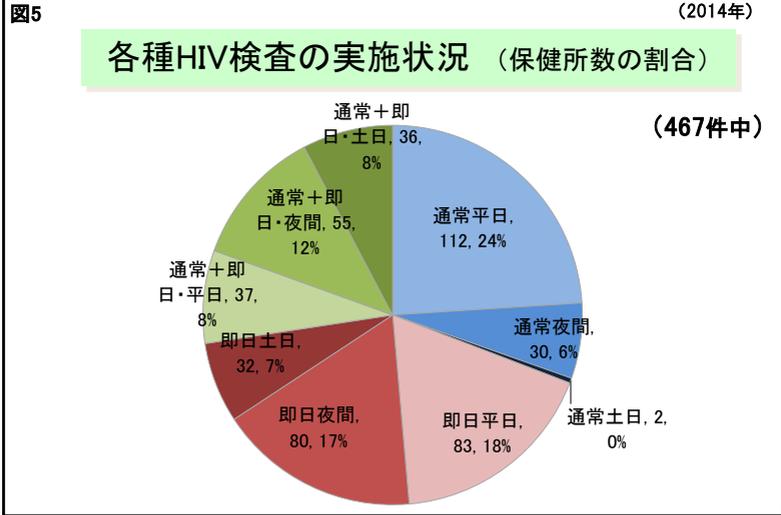


図9

一施設当りの検査人数
()内は陽性者数 (2014年)

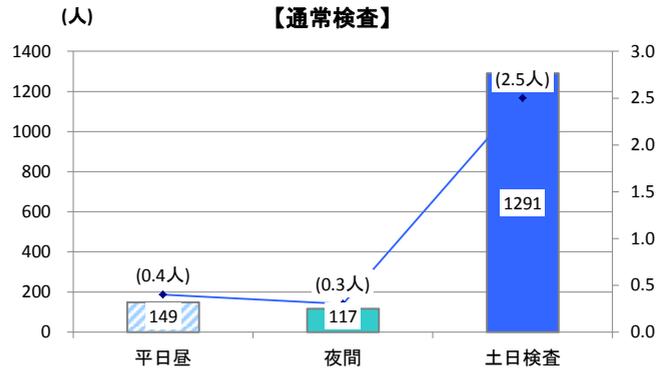


図10

一施設当りの検査人数
()内は陽性者数 (2014年)

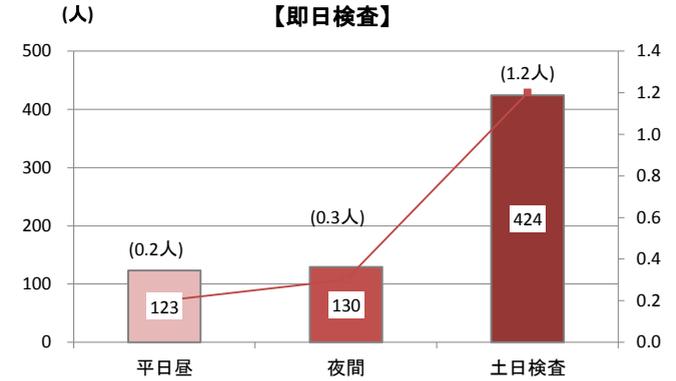


図11

一施設当りの検査人数
()内は陽性者数 (2014年)

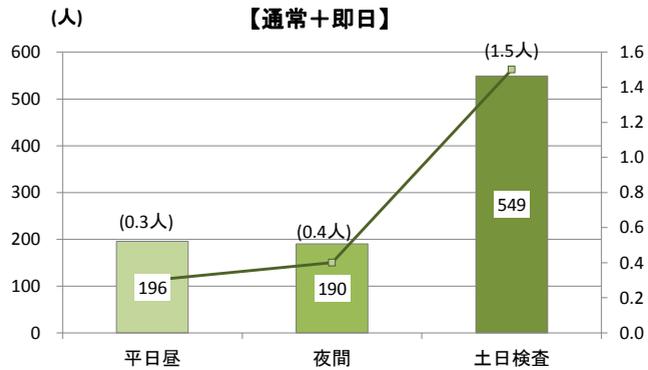
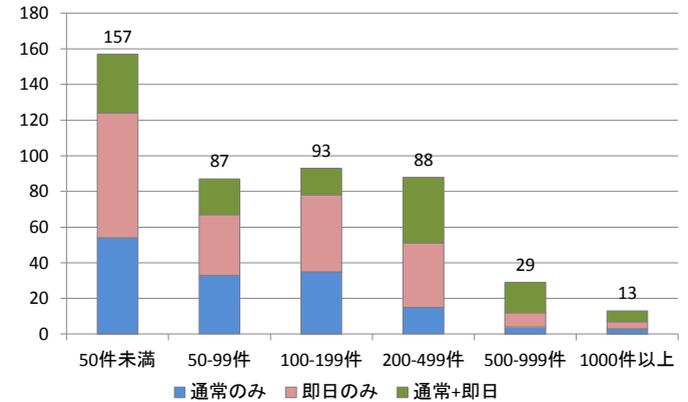
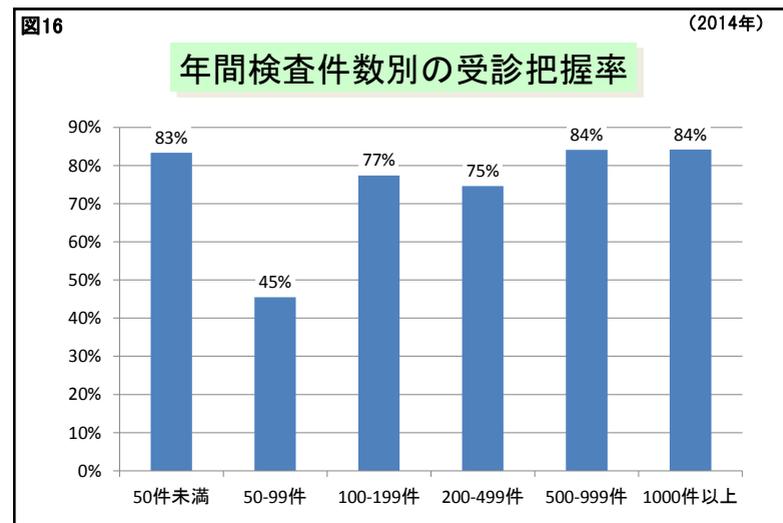
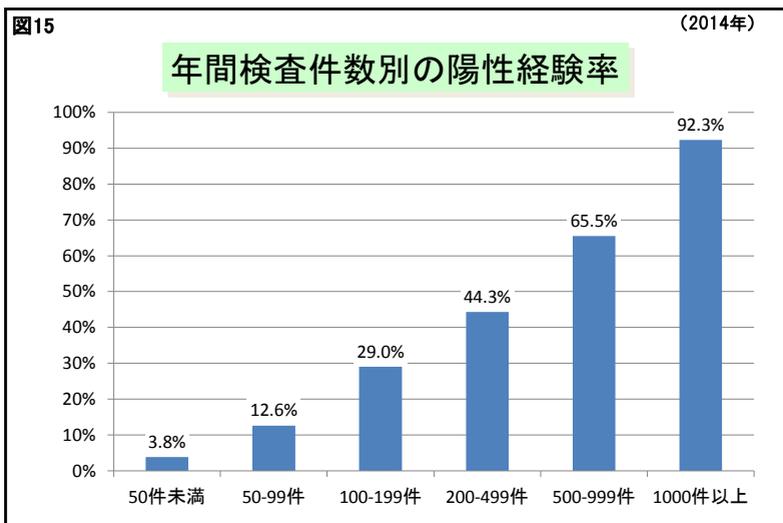
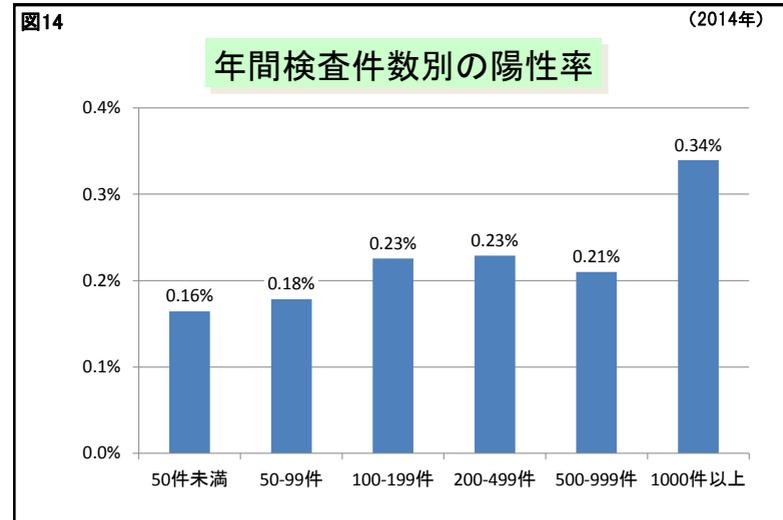
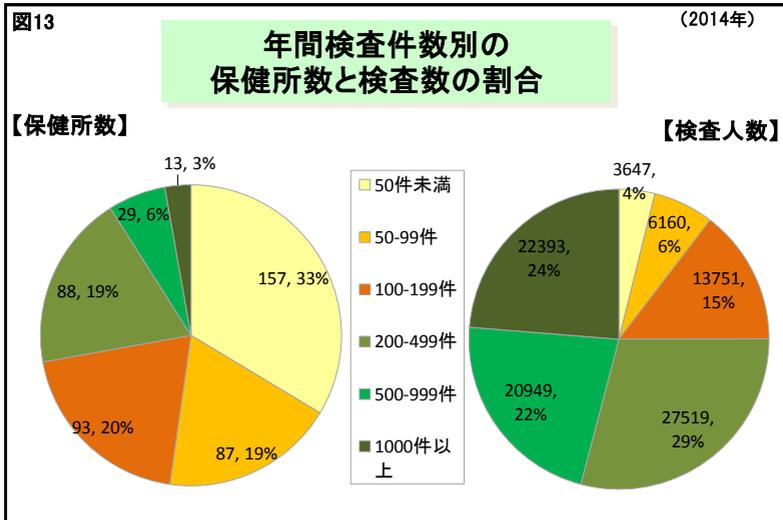
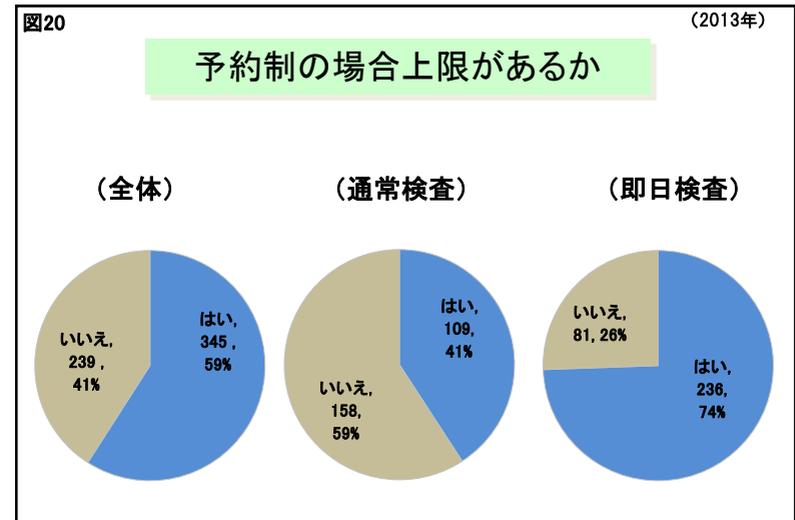
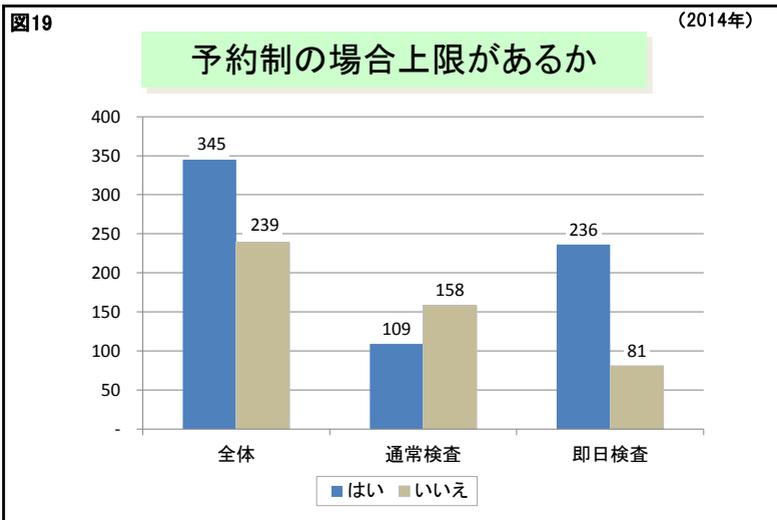
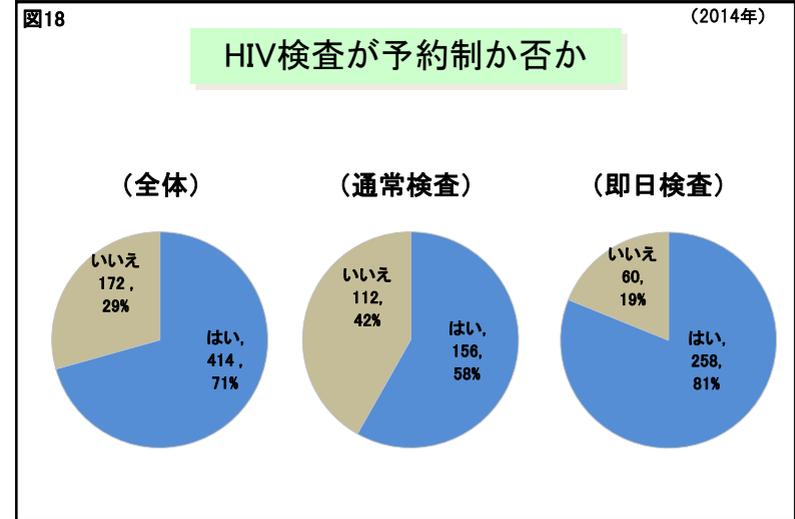
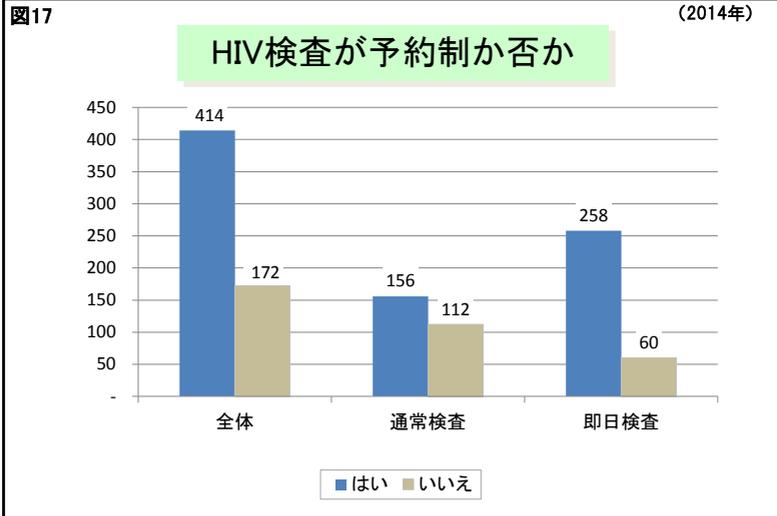


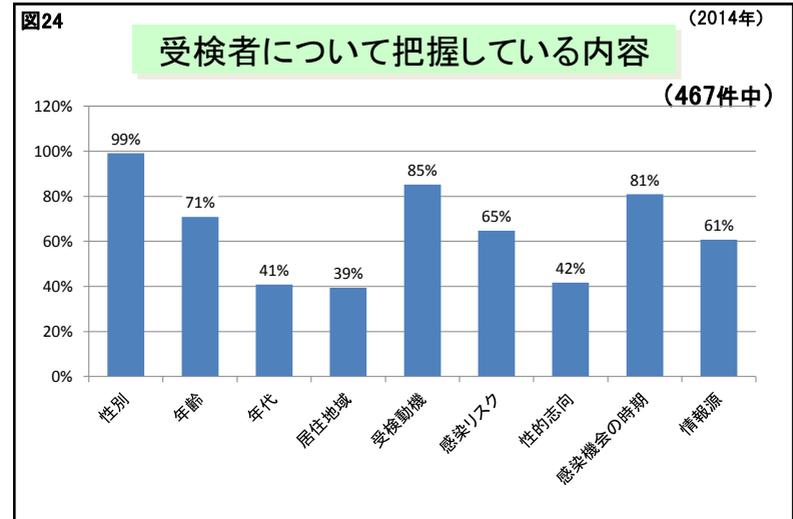
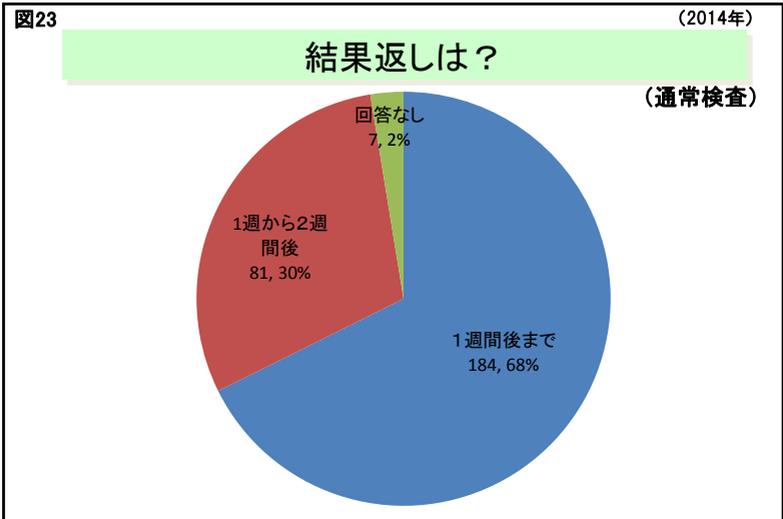
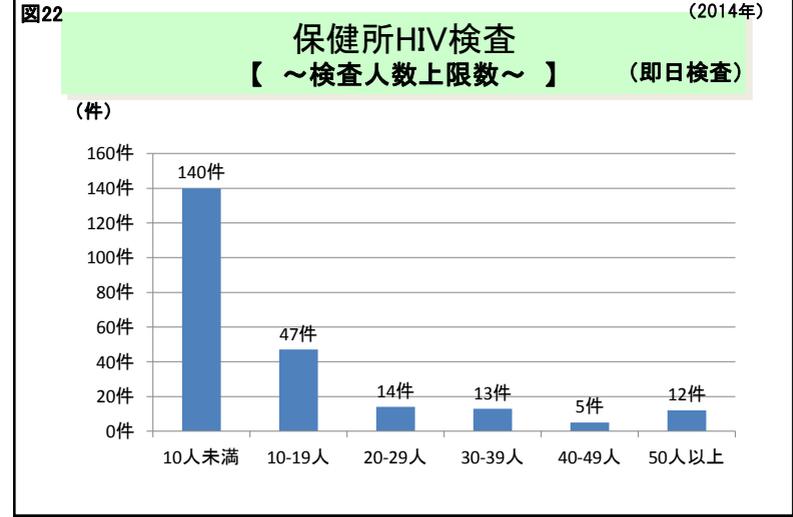
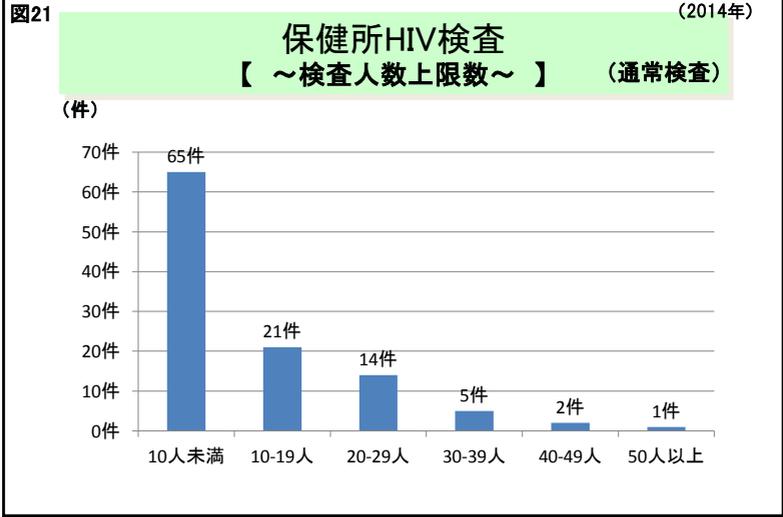
図12

年間検査件数別の保健所数
(467件中) (2014年)









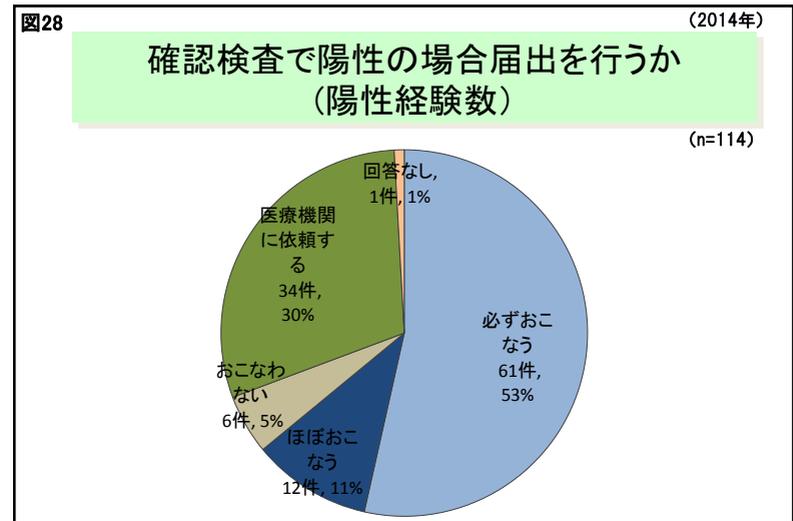
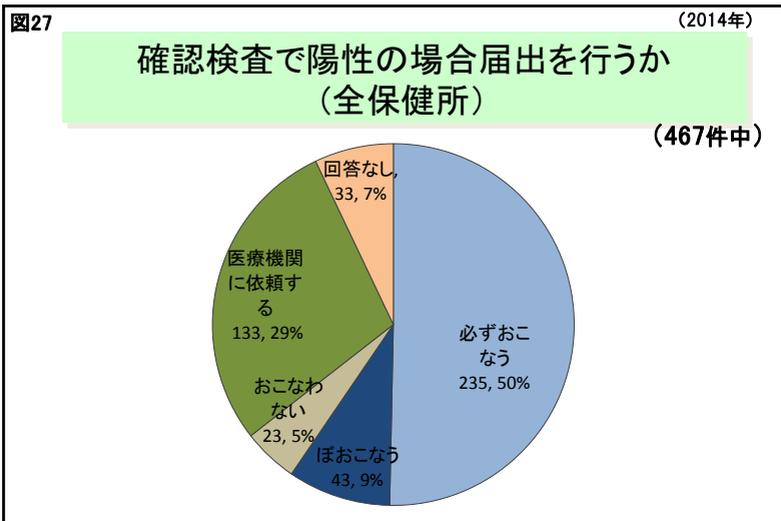
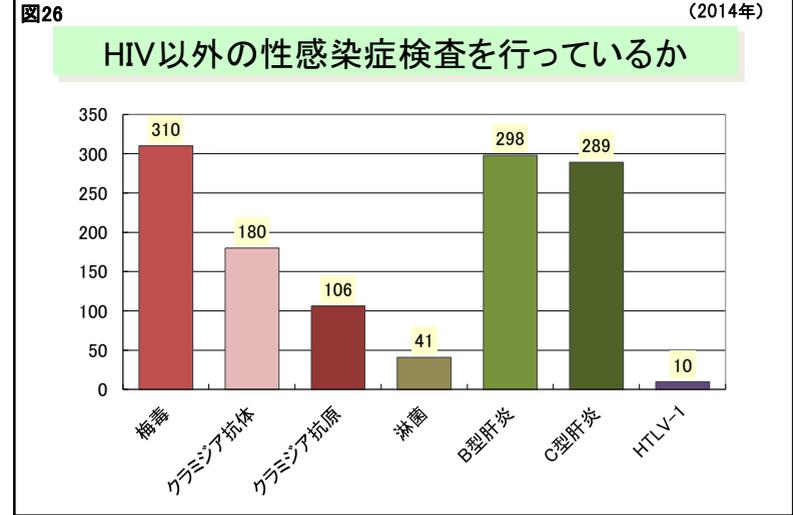
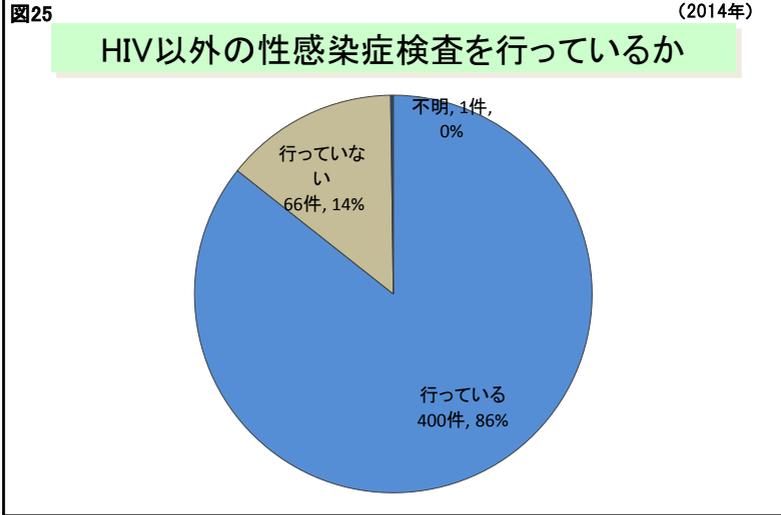
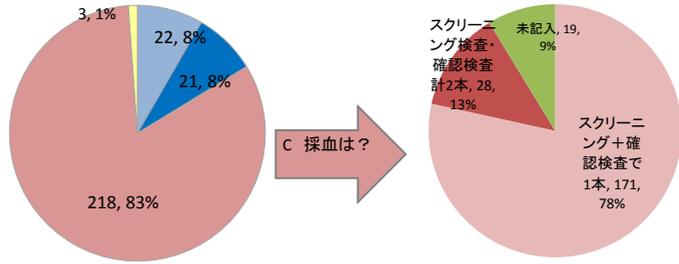


図29

(2014年)

検査陽性時の結果通知と
確認検査検体は？ (通常検査)



- a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する
- b. 最初に2本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。
- c. スクリーニング検査陽性の場合確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。
- その他

図30

(2013年)

確認検査の方法は？
(通常、即日共通)

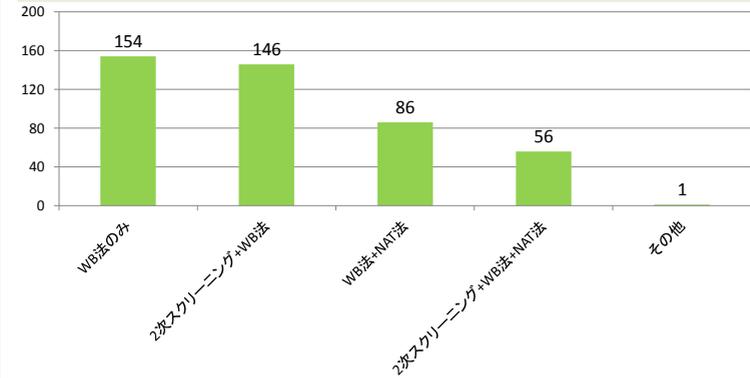


図31

(2014年)

保健所HIV検査
【確認検査の実施施設は？】 (通常検査)

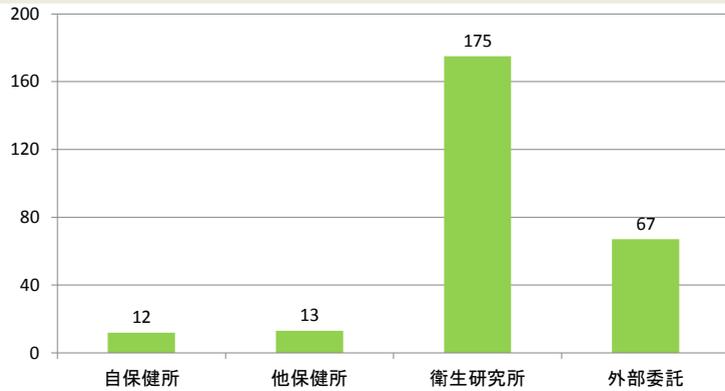
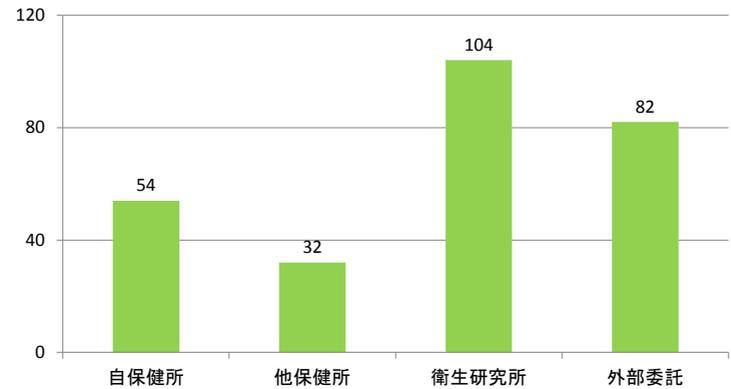
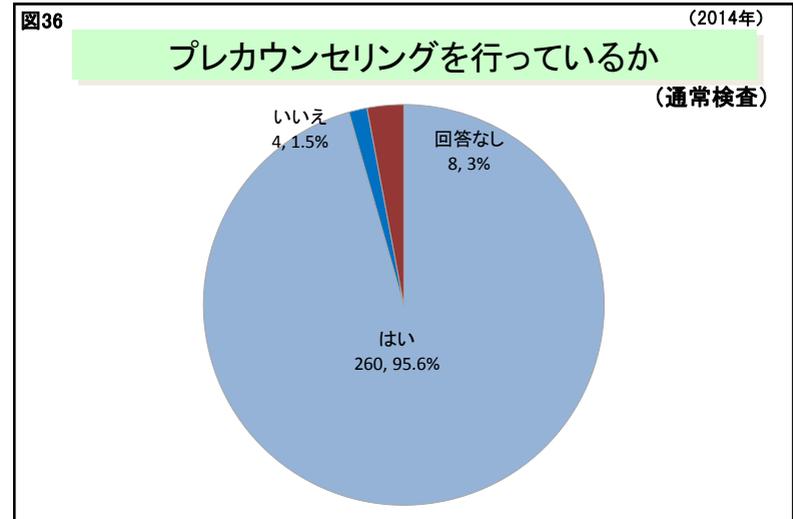
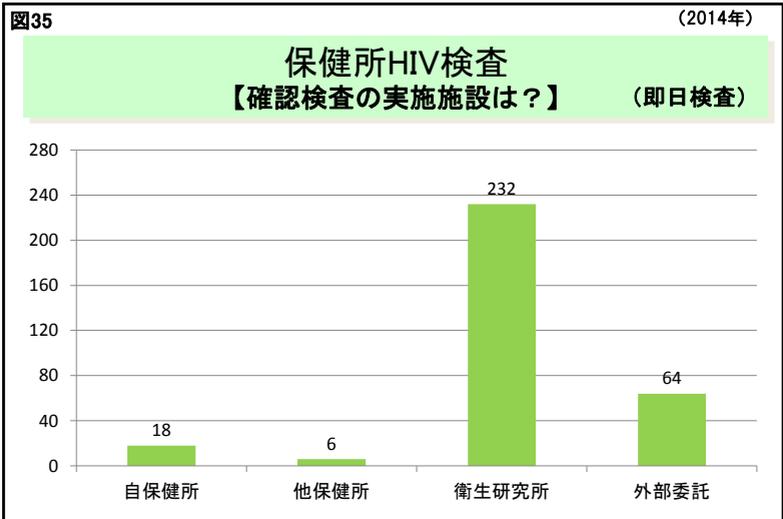
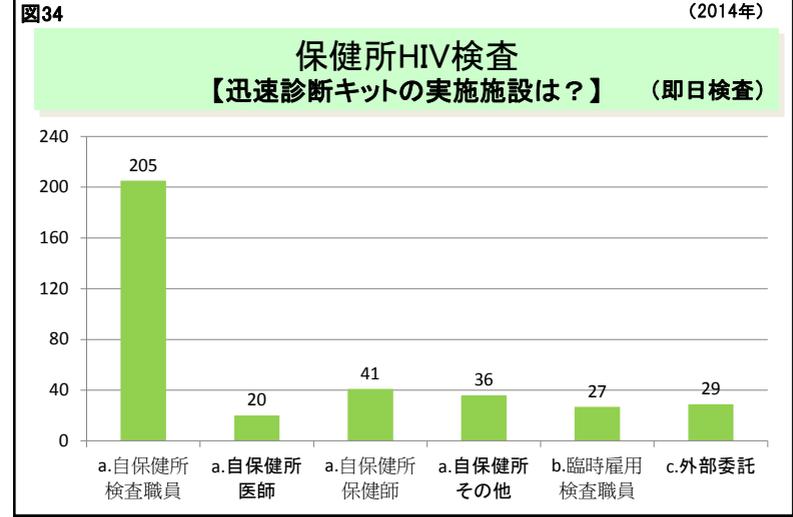
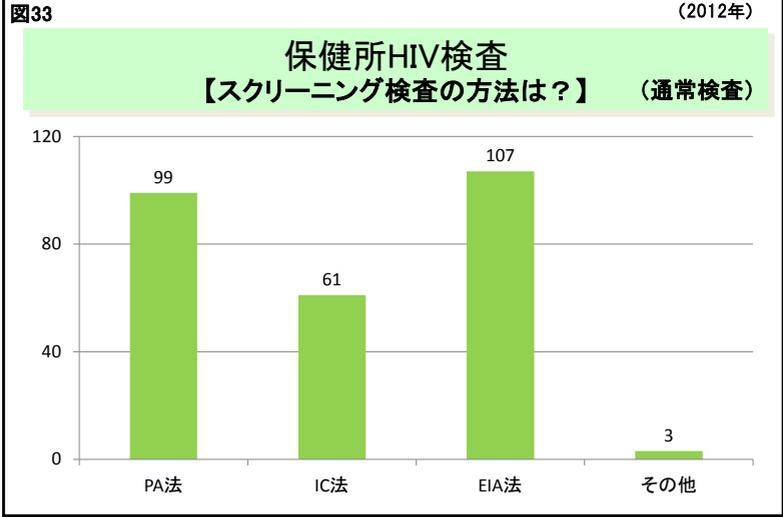


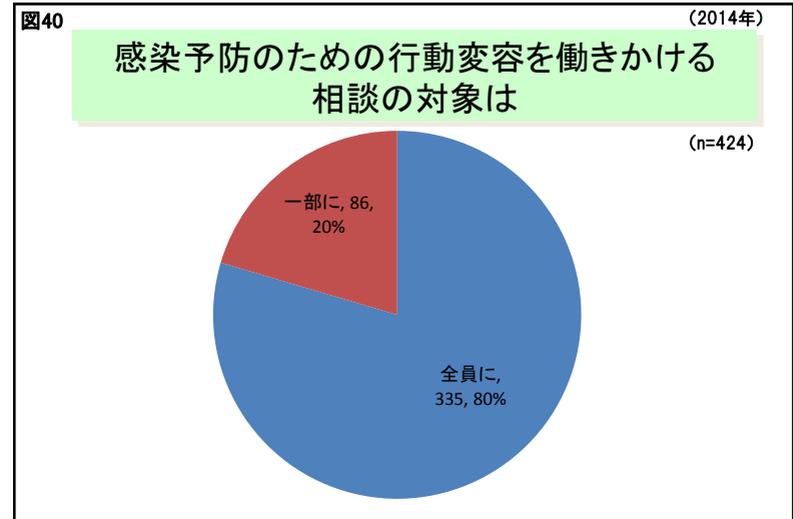
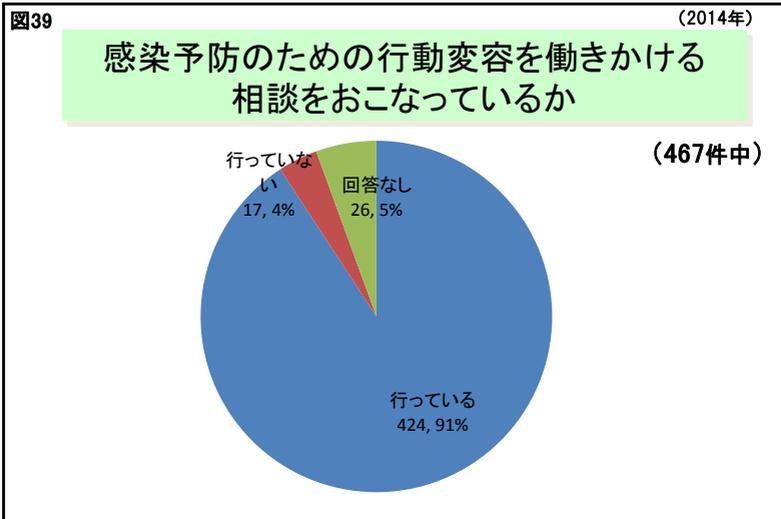
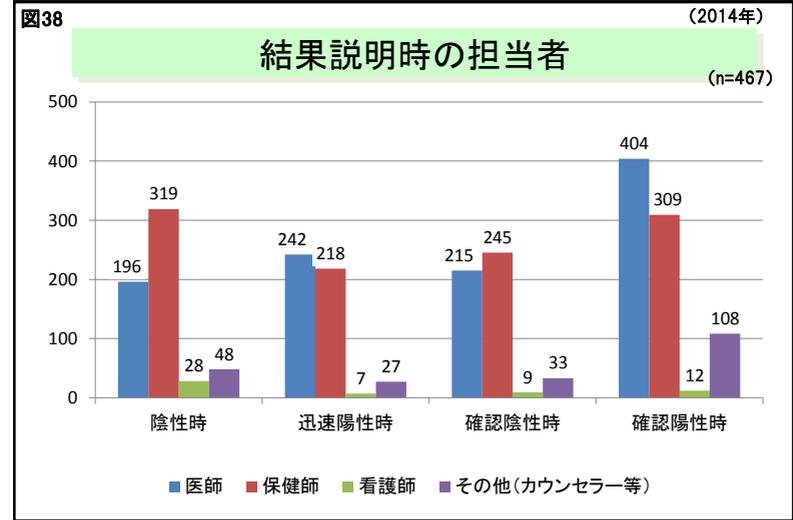
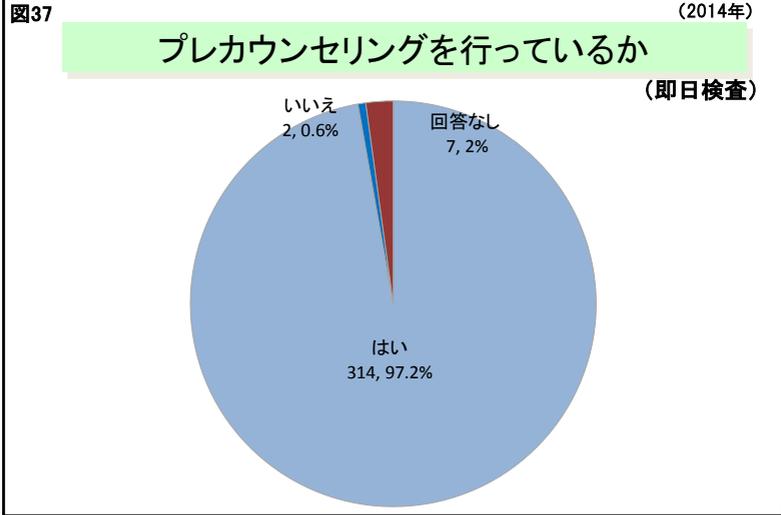
図32

(2014年)

保健所HIV検査
【スクリーニング検査の実施施設は？】 (通常検査)







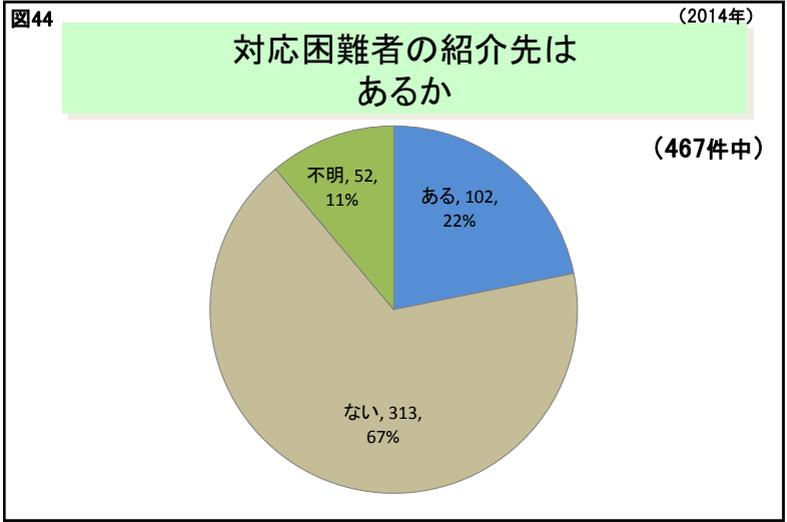
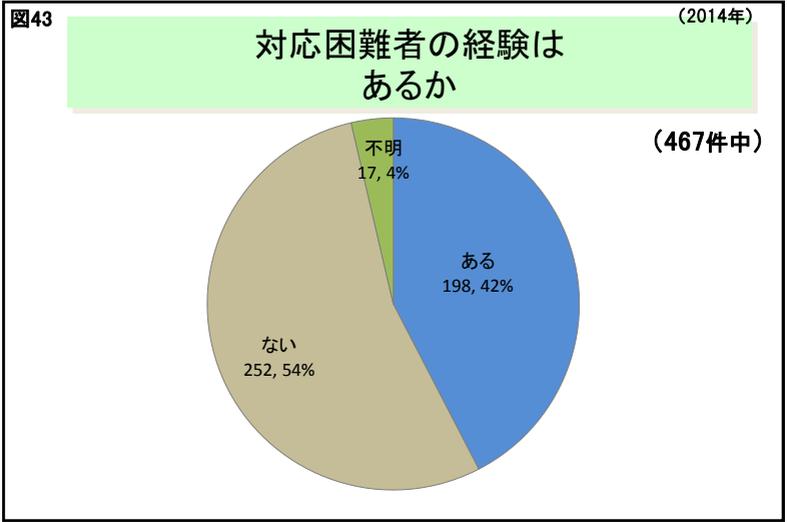
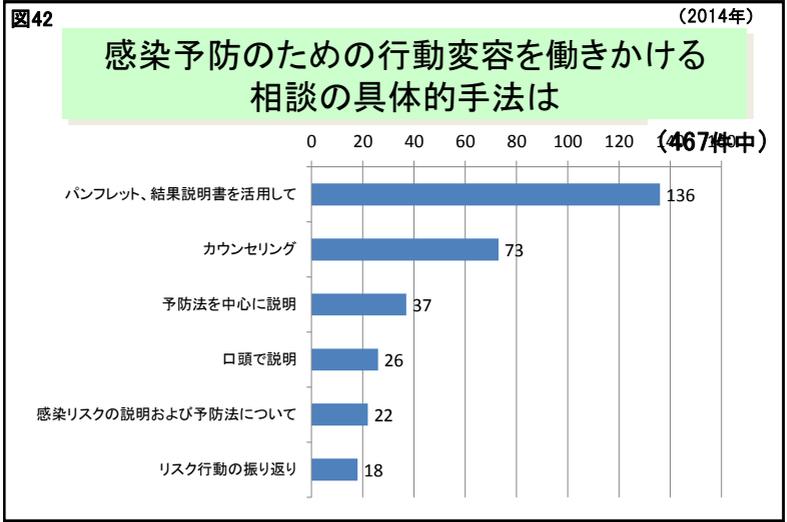
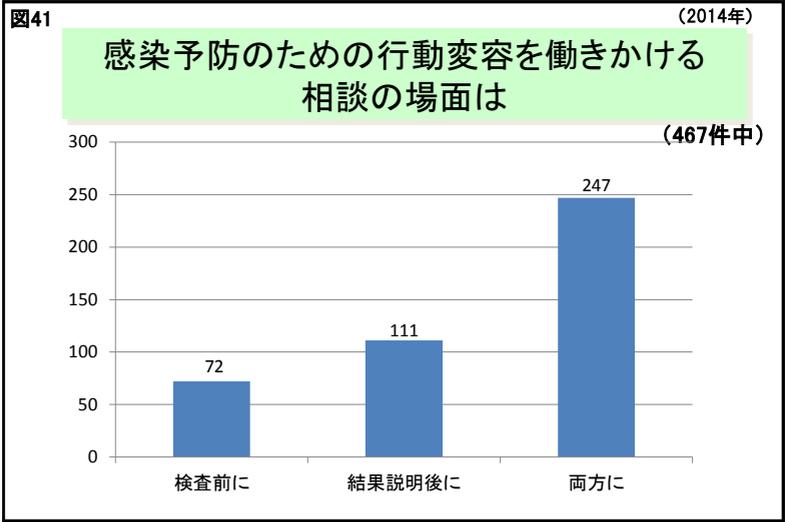


図45

(2014年)

対応困難者の紹介先はどこか

(n=102)
複数回答

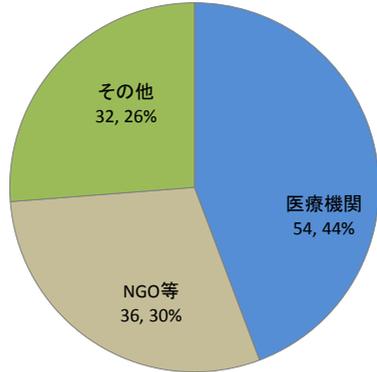


図46

(2014年)

陽性者への説明事項 マニュアルはあるか

(467件中)

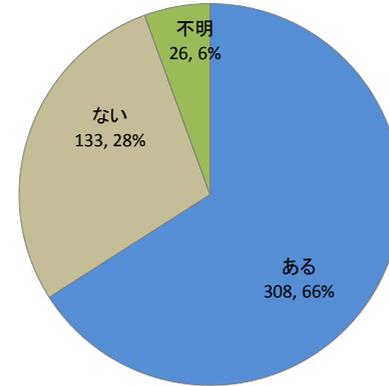


図47

(2014年)

陽性者への説明資料は あるか

(467件中)

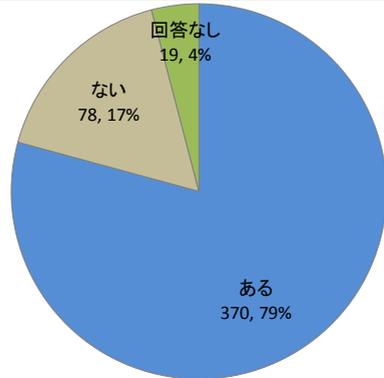


図48

(2014年)

陽性者への手渡し資料は あるか

(467件中)

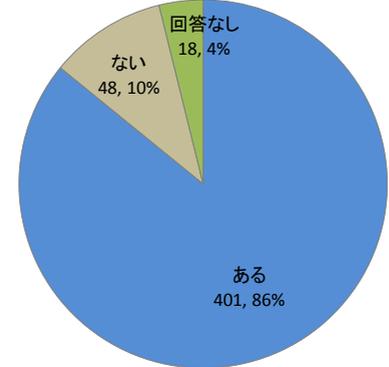


図49

(2014年)

未成年の検査希望者への 対応は

(467件中)

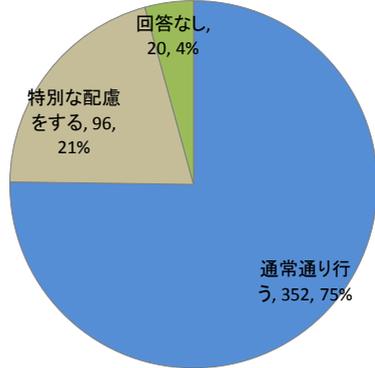


図50

(2014年)

検査結果について 誤通知があったか

(467件中)

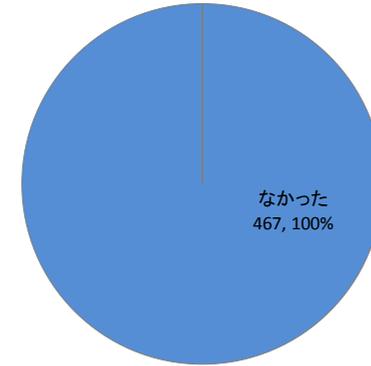


図51

(2014年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を ご覧になったことはありますか？

(467件中)

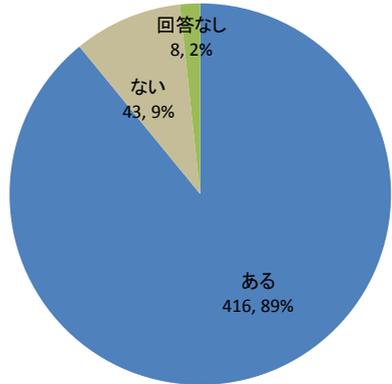
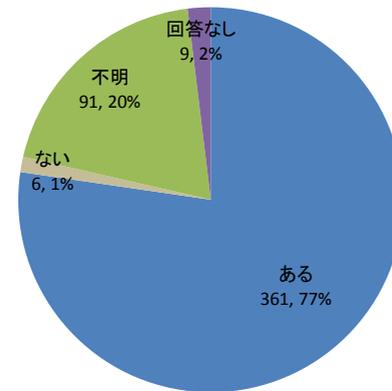


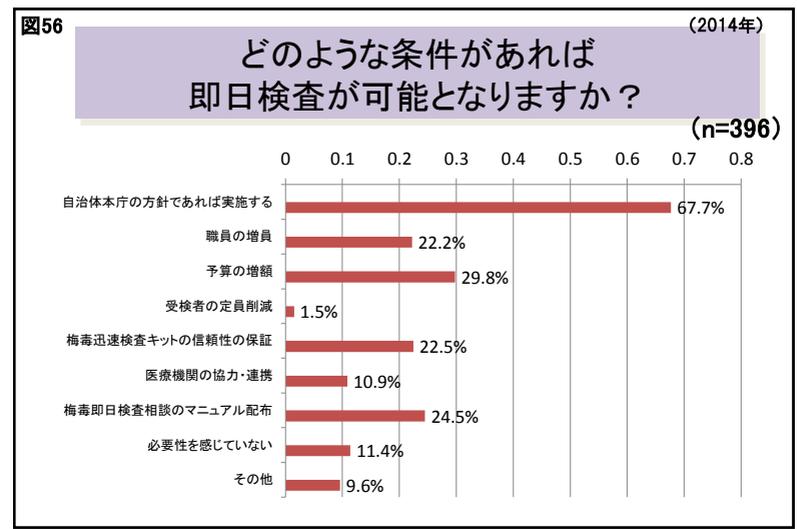
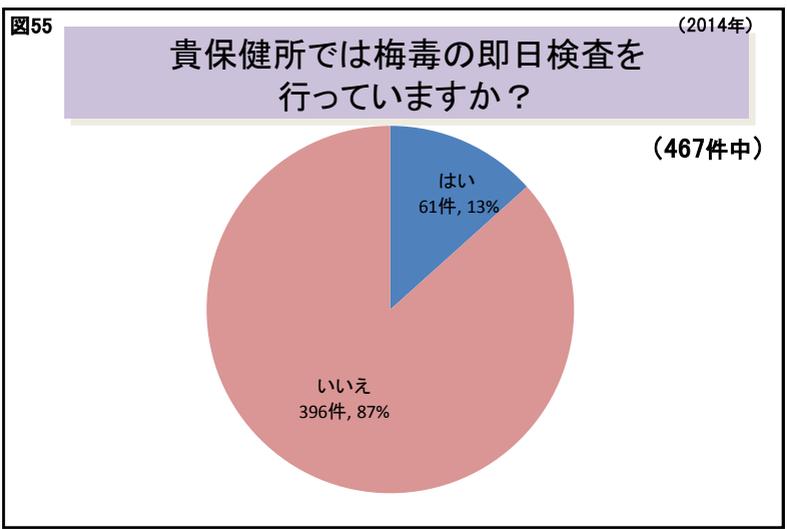
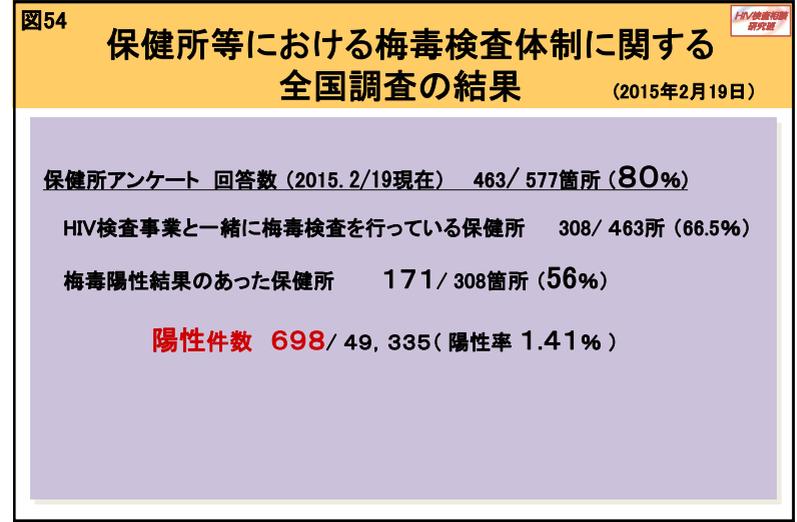
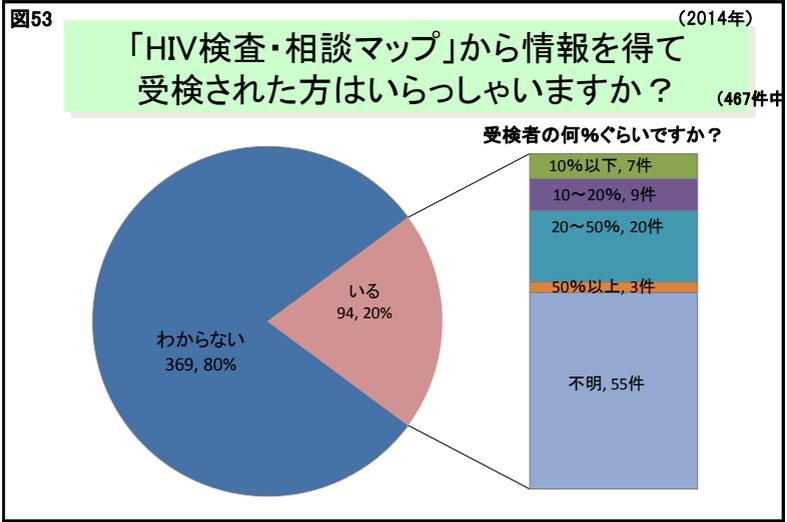
図52

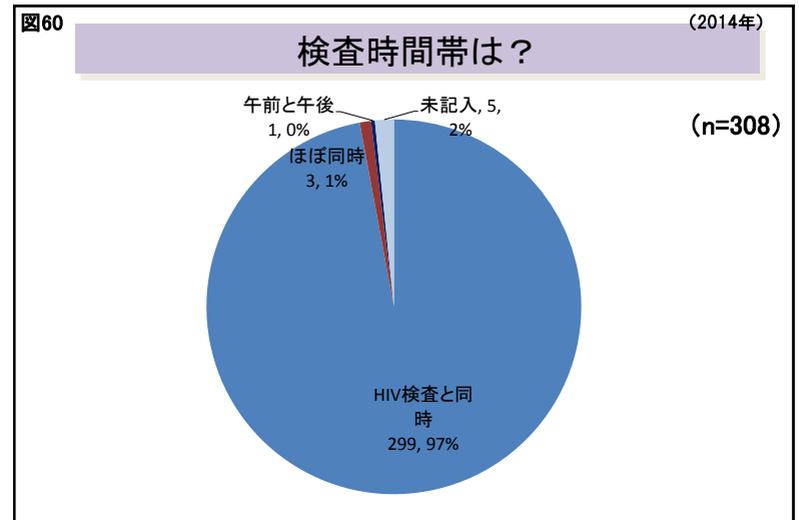
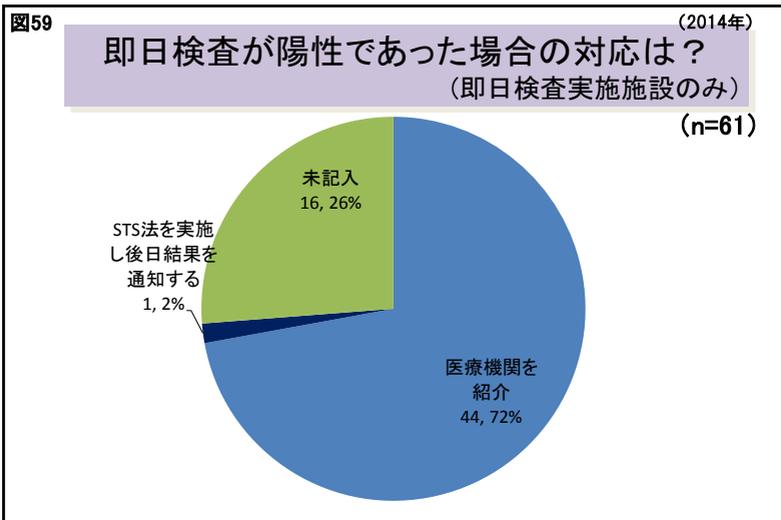
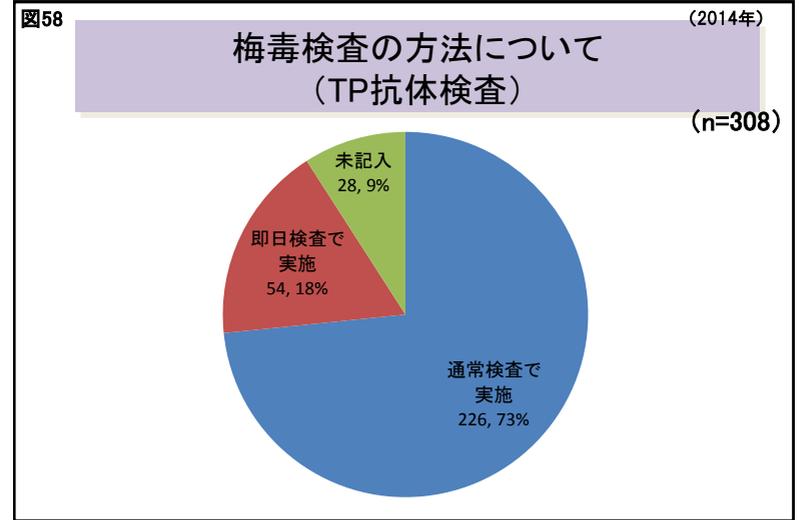
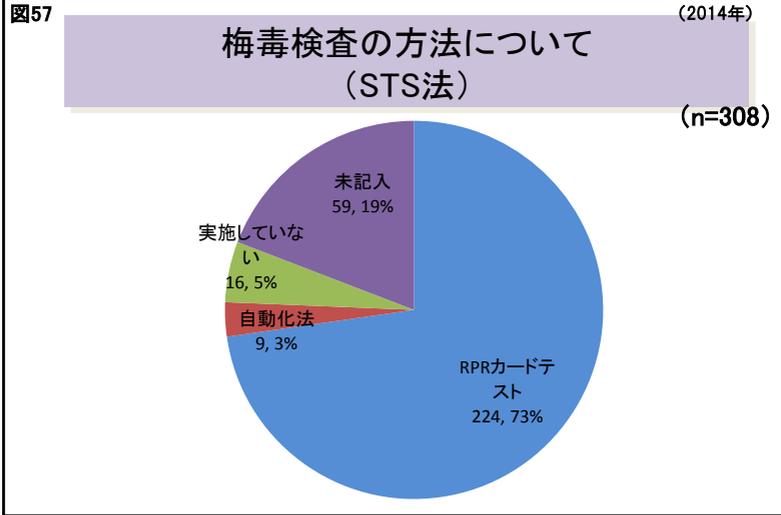
(2014年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に 役立っていると思いますか？

(467件中)







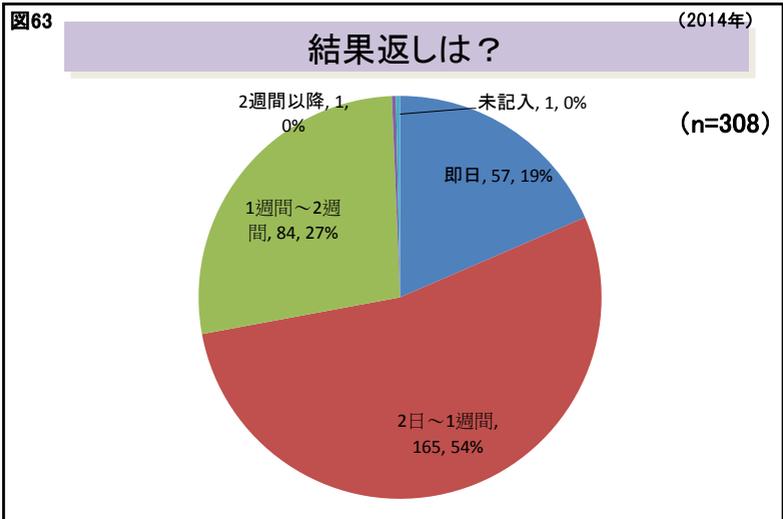
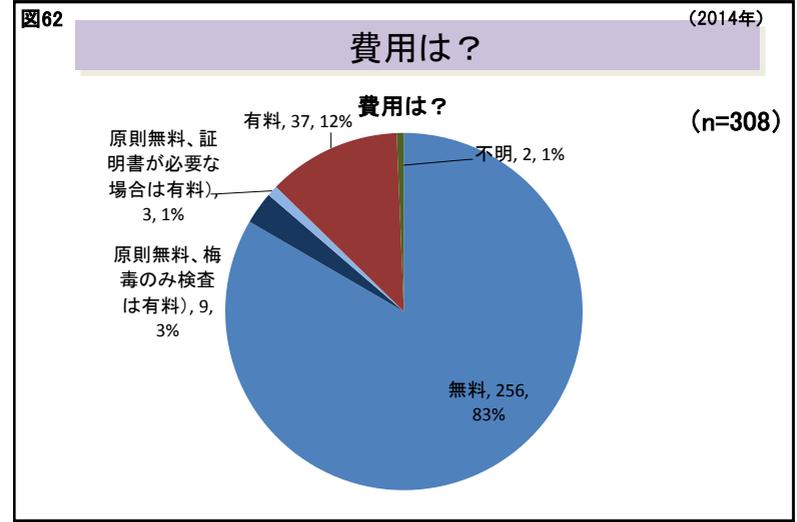
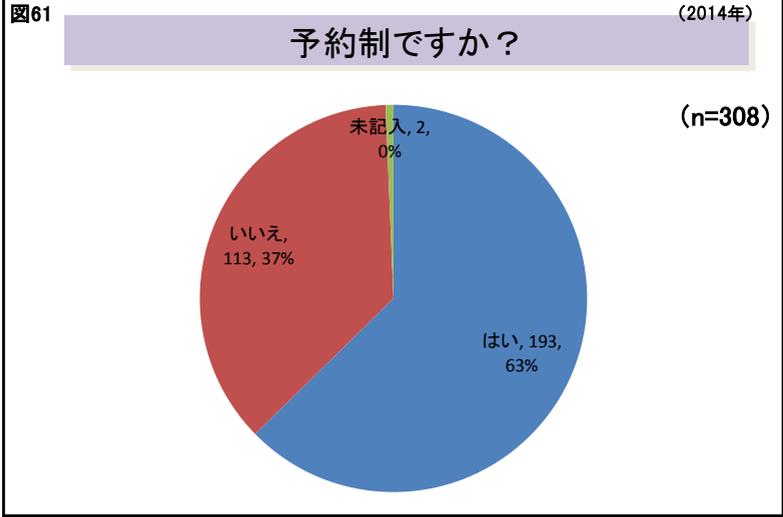


図1 保健所等における梅毒検査体制に関する
全国調査の結果 (2015年2月19日現在)

保健所・支所等アンケート 回答数 463/ 577箇所 (80%)

有効回答数 457/ 577箇所 (79%)

HIV検査事業と一緒に梅毒検査を行っている保健所
308/ 457箇所 (67.4%)

梅毒陽性結果のあった保健所 171/ 308箇所 (56%)

陽性件数 698/ 49,335 (陽性率 1.41%)

(2014年)

図2 貴保健所では梅毒の即日検査を
行っていますか？ (457件中)

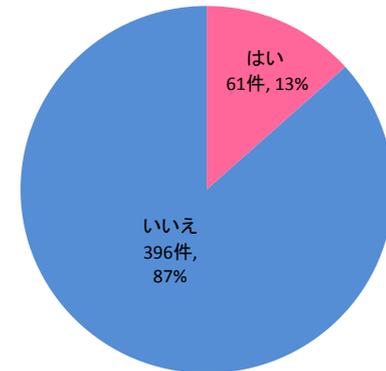
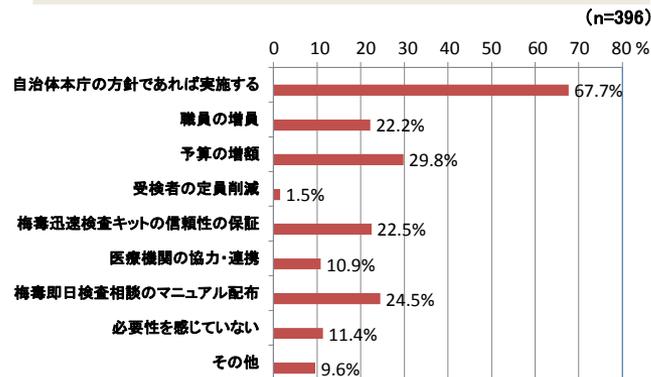
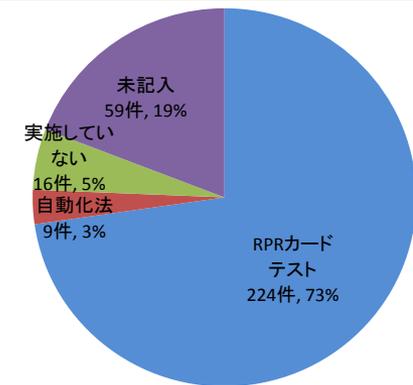


図3 どのような条件があれば
即日検査が可能となりますか？ (n=396)



(2014年)

図4 梅毒検査の方法について
(STS法) (n=308)



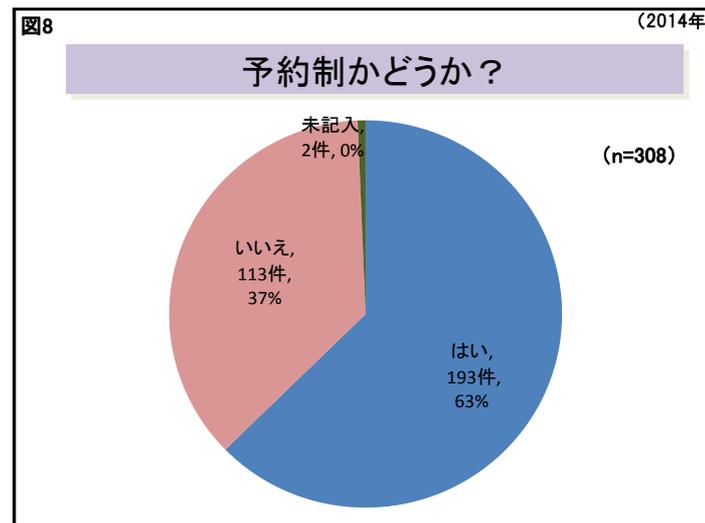
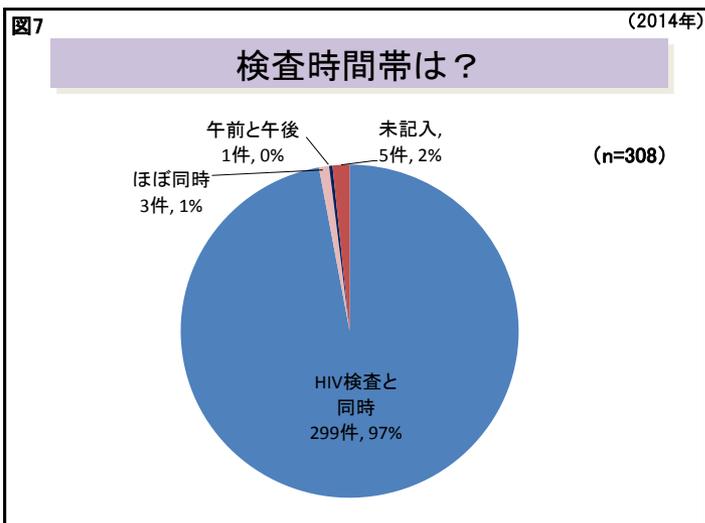
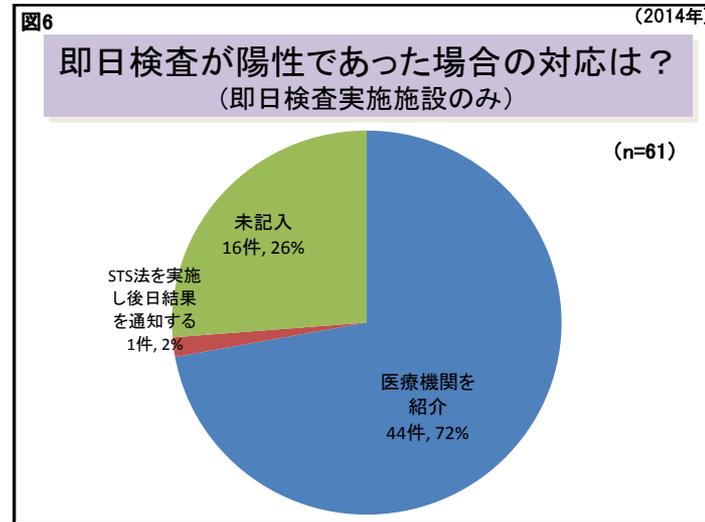
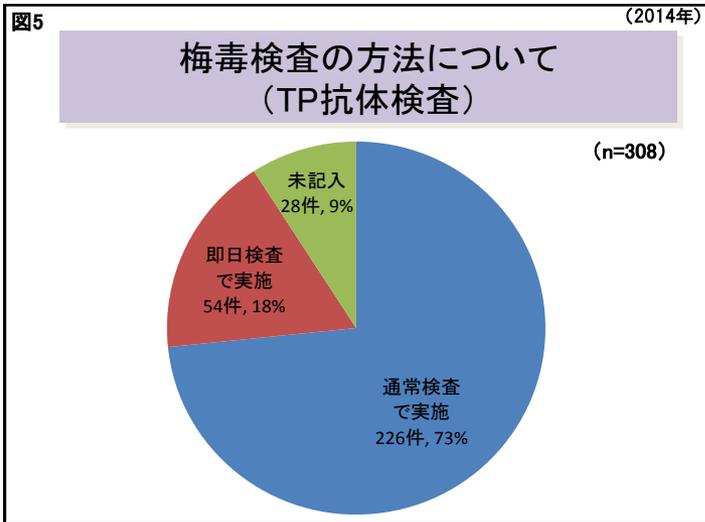


図9

(2014年)

費用は？

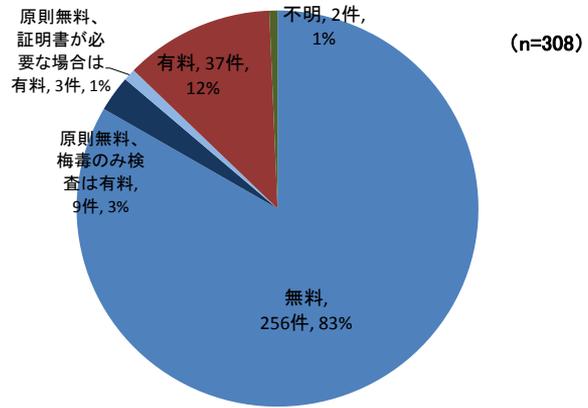
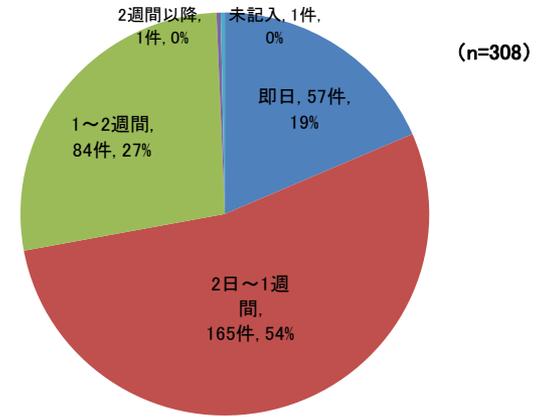


図10

(2014年)

結果返しは？



1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？

(n=469)

アンケート送付数
回収数

577
469

81.3%

はい	467件	99.6%
いいえ	2件	0.4%

「はい」と答えた保健所 → 平成26年1～12月の実施状況をお教え下さい。(n=467)

① HIV検査件数

検査数	94,419
うち陽性数	231
陽性率	0.24%

陽性経験数

陽性者があった保健所	114件	24.4%
陽性者がなかった保健所	353件	75.6%
回答なし		

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
50件未満	157	33.6%	3,647	3.9%	6	0.16%	3.8%	6
50-99件	87	18.6%	6,160	6.5%	11	0.18%	12.6%	11
100-199件	93	19.9%	13,751	14.6%	31	0.23%	29.0%	27
200-499件	88	18.8%	27,519	29.1%	63	0.23%	44.3%	39
500-999件	29	6.2%	20,949	22.2%	44	0.21%	65.5%	19
1000件以上	13	2.8%	22,393	23.7%	76	0.34%	92.3%	12

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数: 1,539人 (1.63%)

③ HIV検査での結果確認 (陰性者、陽性者別):

	陰性		陽性		
結果を聞きにきた	92,665人	98.4%	215人	93.1%	94,419人
結果を聞きにこなかった	1,523人	1.6%	16人	6.9%	
	94,188人		231人		

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験保健所		(n=114)
ある	249	53.3%	86件	75.4%	
ない	201	43.0%	28件	24.6%	

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 182人 (84.7%)

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数: 131人 (56.7%)

2. 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えてください。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	400件	85.7%
行っていない	66件	14.1%
不明	1件	0.2%

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に丸をしてください。(n=400)

梅毒	310	77.5%
クラミジア抗体	180	45.0%
クラミジア抗原	106	26.5%
淋菌	41	10.3%
B型肝炎	298	74.5%
C型肝炎	289	72.3%
HTLV-1	10	2.5%

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。(n=467)

1 通常検査のみ	144	30.8%
2 即日検査のみ	195	41.8%
3 通常+即日	128	27.4%

通常検査を行っている
即日検査を行っている

272
323

A 平日昼のみ検査	236	50.5%
B 平日夜間検査	81	17.3%
C 土日検査	70	15.0%

1A 通常のみ+平日昼のみ	112	24.0%
1B 通常のみ+夜間も行っている	30	6.4%
1C 通常+土日検査も	2	0.4%
2A 即日のみ+平日昼のみ	83	17.8%
2B 即日のみ+夜間も行っている	80	17.1%
2C 即日+土日検査も	32	6.9%
3A 通常+即日・平日昼のみ	37	7.9%
3B 通常+即日・夜間も行っている	55	11.8%
3C 通常+即日・土日検査も	36	7.7%

② ア通常検査の場合

(n=272)

A. 予約制ですか？

はい	156	57.4%
いいえ	112	41.2%
回答なし	4	1.5%

B. 1回あたり上限はありますか？

(n=272)

はい	109	40.1%
いいえ	158	58.1%
回答なし	5	1.8%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数	11人	13人
10人未満	65件	140件
10-19人	21件	47件
20-29人	14件	14件
30-39人	5件	13件
40-49人	2件	5件
50人以上	1件	12件

C. プレカウニングを行っているか？

はい	260	95.6%
いいえ	4	1.5%
回答なし	8	2.9%

D. 結果返しは？

1週間後まで	184	67.6%
1週から2週後まで	81	29.8%
回答なし	7	2.6%

E. スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	54	19.9%
他保健所	32	11.8%
衛生研究所	104	38.2%
外部委託	82	30.1%

F. スクリーニング検査の方法は？

PA法	99	36.4%
IC法	61	22.4%
うちダイナスクリーン	17	
うちエスプライン	15	
EIA法	107	39.3%
その他	3	1.1%

G. 確認検査の実施施設は？

自保健所	12	4.4%
他保健所	13	4.8%
衛生研究所	175	64.3%
外部委託	67	24.6%
	267	98.2%

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体は？

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する	22	8.1%
b. 最初に2本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。	21	7.7%
c. スクリーニング検査陽性の場合は確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。	218	80.1%
採血→スクリーニング+確認検査で1本	171	
採血→スクリーニング検査1本と確認検査1本の計2本	28	
その他	3	1.1%

② イ即日検査の場合

(n=323)

A. 予約制ですか？

はい	258	79.9%
いいえ	60	18.6%
回答なし	5	1.5%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	236	73.1%
いいえ	81	25.1%
回答なし	6	1.9%

上限がある場合、平均人数と分布

	即日
平均数	
10人未満	140件
10-19人	47件
20-29人	14件
30-39人	13件
40-49人	5件
50人以上	12件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	314	97.2%
いいえ	2	0.6%
回答なし	7	2.2%

D. 迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	188	58.2%
2週間後	124	38.4%
回答なし	11	3.4%

E. 迅速診断キットの検査実施は？

a.自保健所 検査職員	205	63.5%
a.自保健所 医師	20	6.2%
a.自保健所 保健師	41	12.7%
a.自保健所 その他	36	11.1%
b.臨時雇用 検査職員	27	0.0%
b.臨時雇用 医師	0	0.3%
b.臨時雇用 保健師	1	1.9%
b.臨時雇用 その他	6	9.0%
c.外部委託	29	0.0%

F. 確認検査 実施施設は？

自保健所	18	5.6%
他保健所	6	1.9%
衛生研究所	232	71.8%
外部委託	64	19.8%

G. 確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	208	64.4%
確認検査用再採血	8	
迅速検査用と同時	53	33.7%
結果通知後	48	

③ 確認検査の方法は？（通常、即日共通）

(n=467)

WB法のみ	154	33.0%
2次スクリーニング+WB法	146	31.3%
WB法+NAT法	86	18.4%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	56	12.0%
その他	1	0.2%

443

④ 受検者について把握している内容は？

(n=467)

性別	463	99.1%
年齢	331	70.9%
年代	191	40.9%
居住地域	184	39.4%
受検動機	398	85.2%
感染リスク	302	64.7%
性的志向	195	41.8%
感染機会の時期	378	80.9%
情報源	284	60.8%
その他	71	15.2%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

(n=467)

活用している	270	57.8%
活用していない	136	29.1%

⑤ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	448		280		344		408	
医師	196	43.8%	242	86.4%	215	62.5%	404	99.0%
保健師	319	71.2%	218	77.9%	245	71.2%	309	75.7%
看護師	28	6.3%	7	2.5%	9	2.6%	12	2.9%
その他(カウンセラー等)	48	10.7%	27	9.6%	33	9.6%	108	26.5%

迅速検査陽性時、手渡し資料がありますか？

ある	228件	48.8%
ない	26件	5.6%
回答なし	213件	45.6%

B. 陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	308件	66.0%
ない	133件	28.5%
回答なし	26件	5.6%

C. 陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=114)	
ある	370件	79.2%	88件	77.2%
ない	78件	16.7%	21件	18.4%
回答なし	19件	4.1%	5件	4.4%

D. 陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=114)	
ある	401件	85.9%	103	90.4%
ない	48件	10.3%	8	7.0%
回答なし	18件	3.9%	3件	2.6%

E. 確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=114)	
必ずおこなう	235件	50.3%	61件	53.5%
ほぼおこなう	43件	9.2%	12件	10.5%
おこなわない	23件	4.9%	6件	5.3%
医療機関に依頼する	133件	28.5%	34件	29.8%
回答なし	33件	7.1%	1件	0.9%

F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？ (n=467)

行っている	424	90.8%
行っていない	17	3.6%
回答なし	26	8.0%

対象は？

全員に	335	79.0%
一部に	86	20.3%

(n=424)

場面は？

検査前に	72	17.0%
結果説明後に	111	26.2%
両方に	247	58.3%

具体的手法は？

パンフレット、結果説明書を活用して	136
カウンセリング	73
予防法を中心に説明	37
口頭で説明	26
感染リスクの説明および予防法について	22
リスク行動の振り返り	18

G. 対応困難者の経験はありますか？

ある	198件	42.4%
ない	252件	54.0%
不明	17件	3.6%

対応困難者の紹介先はありますか？

(n=467)

ある	102件	21.8%
ない	313件	67.0%
不明	52件	11.1%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？(複数回答あり)

(n=102)

医療機関	54件	52.9%
NGO等	36件	35.3%
その他	32件	31.4%

H未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

(n=467)

通常通り行う	352件	75.4%
受け付けない	0件	0.0%
特別な配慮をする	96件	20.6%
→陽性時には親にも説明	32件	33.3%
→保護者同伴	19件	19.8%
→保護者の同意を得られているか	18件	18.8%
回答なし	20件	4.3%

⑥ホームページ「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

(n=467)

ある	416件	89.1%
ない	43件	9.2%
回答なし	8件	1.7%

⑦「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

ある	361件	77.3%
ない	6件	1.3%
不明	91件	19.5%
回答なし	9	1.9%

⑧「HIV検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃいますか？

いる	94件	20.1%
受検者の約 10%以下	7件	
受検者の約 10%～20%	9件	
受検者の約 20%～50%	20件	
受検者の約 50%以上	3件	
わからない	369件	79.0%
回答なし	4	0.9%

⑨ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=467)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	467	100.0%
HIVについてあった	0	0.0%
STIIについてあった	0	0.0%

1. (1) 貴保健所では梅毒の即日検査を行っていますか？ (n=463)

はい	61件	13.2%
いいえ	396件	85.5%

アンケート送付数 577
回収数 463
80.2%

1. (2) どのような条件があれば即日検査が可能となりますか？(複数回答可) (n=396)

自治体本庁の方針であれば実施する	268	67.7%
職員の増員	88	22.2%
予算の増額	118	29.8%
受検者の定員削減	6	1.5%
梅毒迅速検査キットの信頼性の保証	89	22.5%
医療機関の協力・連携	43	10.9%
梅毒即日検査相談のマニュアル配布	97	24.5%
必要性を感じていない	45	11.4%
その他	38	9.6%

HIV検査事業と一緒に「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ (n=308)

308
168

2. (1) HIV検査件数

検査数	49,335
うち陽性数	698
陽性率	1.41%

66.5%
698人

陽性経験数

陽性者があった保健所	171件	55.5%
陽性者がなかった保健所	137件	44.5%

2. (2) 梅毒検査の方法について(STS法、TP抗体検査)

【STS法】

RPRカードテスト	224	72.7%
自動化法	9	2.9%
実施していない	16	5.2%
未記入	59	19.2%

【TP抗体検査】

通常検査で実施	226	73.4%
即日検査で実施	54	17.5%
未記入	28	9.1%

2. (3) 即日検査が陽性であった場合の対応は？(即日検査実施施設のみ) (n=61)

医療機関を紹介	44	72.1%
STS法を実施し後日結果を通知する	1	1.6%
未記入	16	26.2%

(このほか16件・・・即日検査「実施してない」保健所が回答)

2. (4) 検査時間帯は？ (n=308)

HIV検査と同時	299	97.1%
ほぼ同時	3	1.0%
午前と午後	1	0.3%
未記入	5	1.6%

2. (5) 予約制ですか？ (n=308)

はい	190	61.7%
いいえ	113	36.7%
未記入	5	1.6%

2. (6) 費用は？ (n=308)

無料	256	87.0%
(単独検査の場合有料)	9	
(証明書が必要な場合有料)	3	
有料	37	12.0%
不明	2	0.6%

2. (7) 結果返しは？ (n=308)

即日	57	18.5%
2日～1週間	165	53.6%
1週間～2週間	84	27.3%
2週間以降	1	0.3%
未記入	1	0.3%

3. 問題点、課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・検査体制の整備、検査を実施している病院の把握。 ・結果は電話で通知のため、連絡が来ない方へ結果を知らせることができない。 ・梅毒検査相談担当者のスキルアップ。 ・受検しやすいよう休日・夜間検査体制づくり、検査の周知、ハイリスク者掘り起し。 ・人員体制の関係でHIV検査と同時に実施せざるを得ないため、相談・説明場面で1人にかかる時間が長くなり、職員の増員を行う必要がある。 ・検査試薬購入費が不足し十分に検査を実施できないことがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所のHIV検査の受検者数と国内HIV感染者患者数の推移から考えると、今の保健所のHIV検査体制のような方式で国内の全保健所が梅毒検査を実施しても、国内梅毒患者感染者の増加抑制効果に対して発現しないと思う。新たな国内梅毒スクリーニング検査体制を作る際には、性行動活発年代層や梅毒患者感染者の意見や受検行動に関するインタビュー調査を行ったうえで、それらを加味した効果的な国内スクリーニング検査体制を構築することが、梅毒の早期発見と早期治療、結果として感染の伝播の抑制につながっていくと考える。加えて、STIに罹患しない行動や生き方について、生徒学生自身が自ら考えることに重点を置いた授業を学校(中学校、高校、大学等)で行う事が不可欠と考える。(保健所長の意見)
<ul style="list-style-type: none"> ・匿名検査、来所による結果通知のため、来所されない場合こちらから連絡が出来ず結果通知できない。 ・HIV検査と同時のため匿名で検査。結果は後日になるため検査結果を確認しない人もいる。匿名なのでHCからは連絡を取ることもできず対策、治療に結びついていない事例もある。 ・プライバシーの関係上、受検者が結果について問い合わせをしないと陽性であっても結果が伝えられない。
<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査技師がいる保健所で梅毒検査をせず専門職種の配置のない区役所で検査を実施している。市のSTI対策の方向性が見えない。 ・本課の方針による
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所で梅毒と診断し、医療機関へ紹介する際、梅毒は診れないと断られることが多い。治療後の治癒判定目的に再来所される方もいる。(医療機関における診療体制の不備)

1. (2)どのような条件があれば即日検査が可能となりますか？(複数回答可) その他の回答

臨床検査技師等迅速検査キットを使って検査をする職員の人員確保
方針①だけでなく実施体制整備も必要である。
費用対効果
費用対効果
梅毒はエイズに比べ歴史もあり、治療法も確立しており、一般の医療機関で検査が行われていることから医療機関での検査が望ましいと考えている。
同時に実施しているHIV、クラミジア検査も即日にする必要がある。
当保健所に検査施設ができれば
当所は検査課がないため、即日検査への対応が困難。検査課があり、検査の人員等体制が整備されれば検討は可能。
通常検査で行っている
通常検査(スクリーニング→確認検査)を継続する予定。現時点では梅毒即日検査について検討していない。
通常HIV検査と同時実施のため、即日検査実施予定なし。
対応する職員のスキルの確保
即日検査では抗体の存在を見ても梅毒の抗体は一度生成されると梅毒が感知しても体内に長く残り、即日検査は現在の感染か、過去の感染なのか区別がつかず追加の確認検査が必要だが当所では検査？がないためできない。
即日することで受検者への結果待ちの時間が増加する。
受検者の増加が予想されるのでプライバシー保護のための個室の確保が難しい。
受検者が少ないため費用対効果が少ない
自治体内の検査体制の整備
採血の実施体制の充実
採血、検査体制の整備
現時点では検討していないため。(情報不足)
検査体制の整備(場所、スタッフ)
検査体制の確保
検査体制が整わないため
検査実施の必要性や体制整備等総合的な検討が必要。
検査技師が委託機関の協力。
検査員の確保(保健所に配置なし)
検査を実施する職員の配置
検査の体制(職員も含めて)
医師、看護師が常駐していないので、即日検査は難しい。
委託先NPO法人の協力
クラミジア検査もやっているの、クラミジア検査も即日にならないとHIVと梅毒だけが即日わかることによりクラミジアの結果の伝え方が無透かしくなるのではないかと思う。
インフォメーションしても梅毒検査のニーズがない。また梅毒検査受験者から即日検査の希望がない。」
HIV迅速検査と同日で臨時雇用の予算があれば。
HIV検査を希望する人を対象に梅毒検査を実施しており、HIV検査の結果説明が検査の2週間後であるため梅毒検査の結果もHIV検査結果説明時に合わせて伝えている。
HIV検査は検査技師がいる保健所のみで実施しているため梅毒検査も同様と思われる。
HIV検査と同時に実施しているため、検査体制の見直しが必要。
HIVの通常検査と希望者にはセットで実施しているので必要性低い。
HIVの事業に付随した検査のため他の性感染症検査結果とまとめて結果を返している。
HIV事業でなく梅毒の事業であれば即日対応可能。

平成 27 年 1 月 5 日

各 保 健 所 長 様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究
研究代表者 加藤真吾 (慶應義塾大学医学部)
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学)

厚生労働科学研究委託費新興・再興感染症に対する
革新的医薬品等開発推進研究事業
梅毒の新たな検査手法の開発等に関する研究
研究代表者 大西 真 (国立感染症研究所)

HIV 検査および梅毒検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年度実施しました、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査結果につきましては、全国保健所長会のサイト【トップページ右中段“Key Word”：HIV→平成 25 年度「HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」(http://www.phcd.jp/02/kenkyu/kouseiroudou/pdf/hiv_tmp01_H25.pdf)】に掲載させて頂きましたのでご一読頂ければ幸いです。

また、本年度も継続してアンケート調査を行うことになりました。なお、今回は上記梅毒研究班との共同研究として、HIV 検査体制に関するアンケート用紙とともに梅毒検査体制に関するアンケート用紙も同封させて頂いております。近年、梅毒発生届出数が急増していることから、HIV 検査と共に梅毒の検査体制についても把握することで、より効果的な検査相談体制の構築への参考といたく存じます。年度末で大変お忙しいところ恐縮ではありますが、両調査へのご協力をお願い申し上げます。

別紙のアンケート用紙にご回答頂けましたら、平成 27 年 1 月 23 日 (金)までに、返信用封筒にてご返信下さいますようお願い致します。一つの保健所で複数の HIV 検査相談施設 (保健所支所、保健センター等) を管轄している場合には大変申し訳ありませんが、アンケート用紙をコピーの上、各施設単位でアンケートのご回答をしていただけますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 調査目的 保健所における HIV および梅毒の検査体制および結果通知に関する現状を調査する。
- 2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV/STI 検査相談事業担当者
- 3 調査票回答期限 平成 27 年 1 月 23 日 (金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送 (HIV 検査及び梅毒検査アンケートを同封して下さい)
宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信

(本調査に関する問い合わせ先)

下記メールにより今井光信宛にお願い致します。

Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

保健所における HIV 検査・相談体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

保健所名： _____ 所属： _____
 連絡担当者名： _____ 職種： 医師・保健師・事務・その他(_____)
 連絡先： TEL _____ FAX _____ E-mail _____

1. 貴保健所では HIV 検査相談を行っていますか？ (はい ・ いいえ)

「はい」と答えた保健所 → 平成 26 年 1～12 月の実施状況をお教え下さい。

① HIV 検査件数： 検査数 _____ 件 スクリーニング検査で陽性 _____ 件 確認検査陽性 _____ 件

② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数： _____ 件

③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数： _____ 件

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？ (ある ・ ない)

「ある」と答えた保健所 → 具体的に教えて下さい(_____)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数： _____ 件

⑥ 確認検査陽性で、保健所が感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 _____ 件

2. 貴保健所で行っている HIV 検査相談事業の内容について教えて下さい。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常(即日)) (定期) イベント) 検査： (火 曜日・(月) 年) 4 回 受付時間： 13 : 00 ~ 15 : 00

(通常・即日) (定期・イベント) 検査： _____ 曜日 / (月・年) _____ 回 受付時間： _____ : _____ ~ _____ : _____

(通常・即日) (定期・イベント) 検査： _____ 曜日 / (月・年) _____ 回 受付時間： _____ : _____ ~ _____ : _____

(通常・即日) (定期・イベント) 検査： _____ 曜日 / (月・年) _____ 回 受付時間： _____ : _____ ~ _____ : _____

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか？

(行っていない ・ 行っている → (毎回 ・ イベント (年 回)))

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他 _____)

ア. 通常検査を行っている場合

A. 予約制ですか？ (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか？ (はい → (_____) 人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか？ (はい ・ いいえ)

D. 結果返しは？ (1 週間後 ・ 2 週間後 ・ _____ 日後以降)

E. スクリーニング検査実施施設は？

(自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名： _____))

F. スクリーニング検査の方法は？

(PA 法 ・ IC 法 (ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他 (_____))

G. 確認検査の実施施設は？

(自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名： _____))

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する。

b. 最初に 2 本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。

c. スクリーニング検査陽性の場合確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。

(採血は？ → スクリーニング+確認検査で 1 本 ・ スクリーニング検査 1 本と確認検査 1 本の計 2 本)

d. その他 (_____)

イ. 即日検査を行っている場合

A. 予約制ですか？ (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか？ (はい (_____) 人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか？ (はい ・ いいえ)

- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（1週間後・2週間後・____日後以降）
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自保健所職員（検査担当職員・医師・保健師・その他_____）
- b. 臨時雇用（検査担当職員・医師・保健師・その他_____）
- c. 外部委託（機関名_____）
- F. 確認検査の実施施設は？
- （自保健所・他保健所・衛生研究所・外部委託（機関名：_____））
- G. 確認検査用の検体は？
- （迅速検査の残血液・確認検査用に採血 →（迅速検査用と同時・結果通知後））
- ③ 確認検査の方法を教えてください（通常検査を行っている場合、即日検査を行っている場合共通）。
- （WB法のみ・2次スクリーニング検査+WB法・WB法+核酸増幅検査(NAT)法
2次スクリーニング検査+WB法+NAT法・その他（_____））
- ④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。
- （性別・年齢・年代・居住地域・受検の動機・感染リスク・性的指向
・感染機会の時期・今回の検査の情報源・その他（_____））
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（している・していない）
- ⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H26年4月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の1事業実施回当たりの担当者は？
- * 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「陰性結果通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（_____）（人））
- 「迅速検査陽性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（_____）（人））
- 「確認検査陰性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（_____）（人））
- 「確認検査陽性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（_____）（人））
- 「迅速検査陽性」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）
- 具体的には？（_____）、手渡し資料は？（ある・ない）
- 「確認検査陽性」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）
- 具体的には？（_____）
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ある・ない）
- C. 陽性者への説明資料はありますか？（ある（具体的に：_____）・ない）
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？（ある（具体的に：_____）・ない）
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- （必ず行う・ほぼ行う・行わない・紹介先医療機関に依頼する）
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」の方（理由：_____）
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（している・していない）
- 「している保健所」→ 対象は？（全員・一部）、場面は？（検査前・結果説明後・両方）
- 具体的手法は？（具体的に：_____）
- G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ある・ない）
- 対応困難者の紹介先はありますか？（ある・ない）
- 「ある」と答えた保健所 →（紹介先全てに○：医療機関（診療科_____）・NGO・その他_____）
- H. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- （通常通り行う・受け付けない・特別な配慮をする→（具体的に：_____））
- ⑥ ホームページ「HIV検査・相談マップ」(hivkensa.com)をご覧になったことはありますか？（はい・いいえ）
- ⑦ 「HIV検査・相談マップ」はHIV検査相談事業に役立っていると思いますか？（はい・いいえ・不明）
- ⑧ 貴保健所のHIV受検者の中で、「HIV検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃいますか？分かりましたらおおよその割合も教えてください。（いる（約_____％）・分からない）
- ⑨ H26年1～12月にHIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- （あった →（HIVについて・性感染症について）・なかった）
- ⑩ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

保健所における梅毒検査体制に関する調査

本アンケートは、保健所・保健センターで HIV 相談・検査と一緒に実施している梅毒検査について実施状況等を調査することにより、より良い HIV/STI 検査事業のあり方を検討する際の参考にしたいと思っております。ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

(アンケート集計結果は研究班の報告書としてまとめ、報告するとともに、学会・学会誌等に発表することがあります。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。)

保健所名: _____ 所属: _____

連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他(_____)

連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

1. 全保健所にお伺いします。

(1) 梅毒の即日検査を実施していますか? → (実施している ・ 実施していない)

(2) (1)で梅毒の即日検査を「実施していない」と回答された場合のみ、下記にお答えください。



梅毒の迅速検査キットが販売されていますが、どのような条件があれば、即日検査の実施が可能となるでしょうか? 当てはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 自治体本庁の方針であれば実施する | ② 職員の増員 |
| ③ 予算の増額 | ④ 受検者の定員削減 |
| ⑤ 梅毒迅速検査キットの信頼性の保証 | ⑥ 医療機関の協力・連携 |
| ⑦ 梅毒即日検査相談のマニュアル配布 | ⑧ 梅毒即日検査の必要性を感じていない |
| ⑨ その他 (_____) | |

2. 別紙「保健所における HIV 検査・相談体制に関する調査」の設問「2. ② HIV 検査事業と一緒に実施している性感染症検査項目」の中で、「梅毒」を選択した保健所のみ、下記にお答え下さい。

(1) 1年間(平成26年1-12月)の梅毒の検査数と陽性数を教えてください。

検査数 (_____ 件) 陽性数* (_____ 件) * TP 抗体検査もしくは STS 法のいずれかが陽性

(2) 梅毒検査の方法を教えてください。

(ア) 脂質(カルジオリピン)を抗原とする検査(STS法)

(_____ RPR カードテスト ・ 自動化法 ・ 実施していない _____)

(イ) *T. pallidum* を抗原とする検査 (TPHA 法、TPPA 法、IC 法などの TP 抗体検査)

(_____ 通常検査で実施 ・ 即日検査で実施 _____)

(3) 梅毒即日検査を実施されている保健所にお伺いします。即日検査が陽性であった場合、どのような対応をしますか?

(医療機関を紹介 ・ STS 法を実施し後日結果を通知 ・ その他 _____)

(4) 梅毒検査を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(定期・イベント) 検査: _____ 曜日 / (月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____

(定期・イベント) 検査: _____ 曜日 / (月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____

(定期・イベント) 検査: _____ 曜日 / (月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____

(5) 予約制ですか? (はい ・ いいえ)

(6) 費用は? (無料 ・ 有料 _____ 円)

(7) 結果返しは? (即日 ・ 1週間後 ・ 2週間後 ・ _____ 日後以降)

3. 梅毒検査相談を実施する上で、問題点や課題等がありましたら、ご記入ください。(裏面でも可)

ご協力ありがとうございました。

平成 27 年 1 月 5 日

関係者の皆様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班
(研究代表者 加藤真吾)
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学 教授)

HIV 検査に関するアンケートのお願い(依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班」では、現在、保健所に対して「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」を昨年
に引き続き実施しているところです。

つきましては、保健所以外の自治体特設の HIV 検査相談施設に関しましても、保健所アンケートに準じた調査を本年も実施させていただきたく、大変お忙しいところ恐縮ですが、ご協力の程
よろしくお願い致します。

なお、別紙のアンケート用紙を平成 27 年 1 月 23 日 (金)までに、同封の返信用封筒にてご返
信いただけますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 調査目的 自治体特設 HIV 検査相談施設における HIV 検査 (HIV 検査と同時に
行う性感染症検査を含む) の検査体制および結果通知に関する体制の現状を調
査する。
- 2 調査票回答者 自治体特設 HIV 検査相談施設の責任者 あるいは
委託元 HIV 検査相談事業の責任者または担当者
- 3 調査票回答期限 平成 27 年 1 月 23 日 (金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送
宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信
(締め切り期日が迫っている場合、下記のメールアドレス経由でご回答頂いても
結構ですが、その場合も返信用封筒による郵送での回答も必ずお願い致します。)
(宛先) Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

(本調査に関する問い合わせ先)
下記メールにより今井光信宛にお願い致します。
Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

自治体特設 HIV 検査施設における HIV 検査体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

検査施設名:

連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他(_____)

連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

1. 貴施設ではいつから HIV 検査を行っていますか? (_____ 年から)

平成 26 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。

① HIV 検査件数: 検査数 _____ 件 スクリーニング検査で陽性 _____ 件 確認検査陽性 _____ 件

② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: _____ 件

③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数: _____ 件

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? (ある ・ ない)

「ある」と答えた施設 → 具体的に教えて下さい(_____)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: _____ 件

⑥ 確認検査陽性で、感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 _____ 件

2. 貴施設で行っている HIV 検査事業の内容について教えて下さい。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常(即日)(定期)イベント)検査: (火 曜日・(月)年) 4 回 受付時間: 13 : 00 ~ 15 : 00

(通常・即日)(定期・イベント)検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____

(通常・即日)(定期・イベント)検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____

(通常・即日)(定期・イベント)検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか?

(行っていない ・ 行っている → (毎回 ・ イベント (年 回))

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他 _____)

ア. 通常検査を行っている場合

A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか? (はい → (_____)人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)

D. 結果返しは? (1 週間後 ・ 2 週間後 ・ _____ 日後以降)

E. スクリーニング検査実施施設は?

(自施設 ・ 他施設 (機関名: _____))

F. スクリーニング検査の方法は?

(PA 法 ・ IC 法(ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他(_____))

G. 確認検査の実施施設は?

(自施設 ・ 他施設 (機関名: _____))

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する。

b. 最初に 2 本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。

c. スクリーニング検査陽性の場合確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。

(採血は? → スクリーニング+確認検査で 1 本 ・ スクリーニング検査 1 本と確認検査 1 本の計 2 本)

d. その他(_____)

イ. 即日検査を行っている場合

A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか? (はい (_____)人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)

- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（ 1週間後 ・ 2週間後 ・ ____日後以降 ）
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自施設職員 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他_____ ）
- b. 臨時雇用 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他_____ ）
- c. 外部委託 （機関名 _____ ）
- F. 確認検査の実施施設は？
- （ 自施設 ・ 他施設 （機関名： _____ ） ）
- G. 確認検査用の検体は？
- （ 迅速検査の残血液 ・ 確認検査用に再採血 → （ 迅速検査用と同時 ・ 結果通知後 ） ）
- ③ 確認検査の方法を教えてください（通常検査を行っている場合、即日検査を行っている場合共通）。
- （ WB法のみ ・ 2次スクリーニング検査+WB法 ・ WB法+核酸増幅検査(NAT)法
2次スクリーニング検査+WB法+NAT法 ・ その他(_____) ）
- ④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。
- （ 性別 ・ 年齢 ・ 年代 ・ 居住地域 ・ 受検の動機 ・ 感染リスク ・ 性的指向
・ 感染機会の時期 ・ 今回の検査の情報源 ・ その他(_____) ）
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（ している ・ していない ）
- ⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H26年4月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の1事業実施回当たりの担当者は？
- * 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「**陰性**結果通知」→（ 人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**迅速検査陽性**通知」→（ 人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**確認検査陰性**通知」→（ 人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**確認検査陽性**通知」→（ 人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**迅速検査陽性**」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）
- 具体的には？（ _____ ）、手渡し資料は？（ ある ・ ない ）
- 「**確認検査陽性**」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）
- 具体的には？（ _____ ）
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ ある ・ ない ）
- C. 陽性者への説明資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- （ 必ず行う ・ ほぼ行う ・ 行わない ・ 紹介先医療機関に依頼する ）
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」の方（理由： _____ ）
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（ している ・ していない ）
- 「**している施設**」→ 対象は？（ 全員 ・ 一部 ）、場面は？（ 検査前 ・ 結果説明後 ・ 両方 ）
- 具体的手法は？（ 具体的に： _____ ）
- G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ ある ・ ない ）
- 対応困難者の紹介先はありますか？（ ある ・ ない ）
- 「ある」と答えた保健所 →（紹介先全てに○：医療機関（診療科 _____ ）・NGO ・ その他 _____ ）
- H. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- （ 通常通り行う ・ 受け付けない ・ 特別な配慮をする →（具体的に： _____ ） ）
- ⑥ ホームページ「HIV検査・相談マップ」(hivkensa.com)をご覧になったことはありますか？（ はい ・ いいえ ）
- ⑦ 「HIV検査・相談マップ」はHIV検査相談事業に役立っていると思いますか？（ はい ・ いいえ ・ 不明 ）
- ⑧ 貴施設のHIV受検者の中で、「HIV検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃいますか？
- 分かりましたらおおよその割合も教えてください。（ いる（約 _____ %） ・ 分からない ）
- ⑨ H26年1～12月にHIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- （ あった →（ HIVについて ・ 性感染症について ） ・ なかった ）
- ⑩ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成26年9月12日

各保健所長様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究
研究代表者 加藤真吾 (慶應義塾大学医学部)
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児
感染者支援に関する研究
研究代表者 塚原優己 (国立成育医療センター)

HIV 検査に関するアンケートの2次調査のお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

本年1月に全国保健所長会のご協力を得て行いました、「HIV 検査体制に関する全国保健所アンケート調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査報告書は、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」の「検査・相談担当者の方へ」ページ (<http://www.hivkensa.com/tantousha/>) に掲載されておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今回、前述アンケートにおきまして、設問2. ⑤H.およびI.の妊婦からの HIV 相談事例あるいは受検事例があったと回答された保健所に2次調査へのご協力をお願いしております。

このたび厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班との協力で、保健所において HIV 相談・検査を受けた妊婦について、どのような経緯で相談・検査を受けるに至ったかを調査することにより、産婦人科医療機関での HIV 検査対応のあり方を検討する際の参考にしたいと思っております。

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、別紙のアンケート用紙にご回答の上、**平成26年10月10日(金)**までに、返信用封筒にてご返信いただけますようお願い申し上げます。

記

- 1 調査目的 妊婦が保健所で HIV 相談・検査を受けた経緯を調査する。
- 2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV 検査相談事業担当者
- 3 調査票回答期限 平成26年10月10日(金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送
宛先 〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋 1-3-1
神奈川県衛生研究所 微生物部 佐野貴子 (アンケート集計担当)

(本調査に関する問い合わせ先)
下記メールにより今井光信宛にお願い致します。
Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

保健所における妊婦の HIV 相談・検査に関する調査

このアンケートは、保健所・保健センターで HIV 相談・検査を受けた妊婦について、どのような経緯で相談・検査を受けたのかを調査することにより、産婦人科医療機関での HIV 検査対応のあり方を検討する際の参考にしたいと思っております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

(アンケート集計結果は研究班の報告書としてまとめ、報告するとともに、学会・学会誌等に発表することがあります。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。)

保健所名: _____ 所属: _____

連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他(_____)

連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

*平成25年1～12月の期間中に、妊婦で HIV/エイズの相談をされた方、あるいは HIV 検査を受けた方についてお答えください。

<ここでは、妊婦の HIV/エイズの『相談』事例について教えてください>

1. 昨年1年間の妊婦の HIV/エイズに関する相談数を教えてください → (_____ 例)
2. 相談内容について教えてください。下記の当てはまる項目に丸をつけてください(複数回答可)。
相談が複数例ある場合には各例について個別にお答えください。

1例目 (年代) 16～25歳・26～35歳・36～45歳代・46歳以上・不明
(国籍) 日本籍・外国籍・不明
(妊娠月数) _____ヶ月(_____週)・不明
(産科医療機関の受診) あり・なし・不明

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配 →→ 心配な理由は?(_____)
- ② 他の性感染症に感染している →→ 性感染症の種類は?(_____)
- ③ 中絶を検討している
- ④ 医療機関から保健所に相談するように勧められた
→→ 医師からどのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
(_____)
- ⑤ その他 →→ 具体的に教えてください。
(_____)

2例目 (年代) 16～25歳・26～35歳・36～45歳代・46歳以上・不明
(国籍) 日本籍・外国籍・不明
(妊娠月数) _____ヶ月(_____週)・不明
(産科医療機関の受診) あり・なし・不明

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配 →→ 心配な理由は?(_____)
- ② 他の性感染症に感染している →→ 性感染症の種類は?(_____)
- ③ 中絶を検討している
- ④ 医療機関から保健所に相談するように勧められた
→→ 医師からどのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
(_____)
- ⑤ その他 →→ 具体的に教えてください。
(_____)

→ 3例目からは別紙(相談)にお答えください。

→ 裏面 <HIV「検査」について>に続きます。

<ここでは、妊婦の HIV『検査』事例について教えてください>

1. 昨年 1 年間の妊婦の HIV 検査数を教えてください → (例)
2. 検査を希望した理由を教えてください。下記の当てはまる項目に丸をつけてください(複数回答可)
検査が複数例ある場合には各例について個別にお答えください。

1例目

(年代) 16~25 歳 ・ 26~35 歳 ・ 36~45 歳代 ・ 46 歳以上 ・ 不明
(国籍) 日本籍 ・ 外国籍 ・ 不明
(妊娠月数) _____ヶ月 (_____週) ・ 不明
(産科医療機関の受診) あり ・ なし ・ 不明
(パートナーの同伴検査) あり ・ なし
(HIV/エイズ相談) あり (相談事例 _____例目と同一人物) ・ なし

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配なため →→ 心配な理由は?()
- ② 他の性感染症に感染していたため →→ 性感染症の種類は?()
- ③ 医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため
→→ どのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
()
- ④ 医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため
- ⑤ まだ医療機関に受診していないため
- ⑥ 検査を受けたいがどこで受けたらよいのか分からないため
- ⑦ 妊娠後の性交渉による新たな HIV 感染が心配なため
- ⑧ 中絶を検討しているため
- ⑨ その他 →→ 具体的に教えてください。
()

2例目

(年代) 16~25 歳 ・ 26~35 歳 ・ 36~45 歳代 ・ 46 歳以上 ・ 不明
(国籍) 日本籍 ・ 外国籍 ・ 不明
(妊娠月数) _____ヶ月 (_____週) ・ 不明
(産科医療機関の受診) あり ・ なし ・ 不明
(パートナーの同伴検査) あり ・ なし
(HIV/エイズ相談) あり (相談事例 _____例目と同一人物) ・ なし

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配なため →→ 心配な理由は?()
- ② 他の性感染症に感染していたため →→ 性感染症の種類は?()
- ③ 医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため
→→ どのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
()
- ④ 医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため
- ⑤ まだ医療機関に受診していないため
- ⑥ 検査を受けたいがどこで受けたらよいのか分からないため
- ⑦ 妊娠後の性交渉による新たな HIV 感染が心配なため
- ⑧ 中絶を検討しているため
- ⑨ その他 →→ 具体的に教えてください。
()

→→3例目からは別紙(検査)にお答えください。

◇妊婦の相談・検査対応についてお困りのことや研究班で対応して欲しいことがありましたら余白にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

表1

妊婦のHIV/エイズの相談事例(相談のみ) 7例

【年代】	36～45歳	2例
	不明	5例
【国籍】	日本籍	6例
	不明	1例
【妊娠月数】	3ヶ月	1例
	35週	1例
	不明	5例
【産科受診】	あり	7例

【相談内容】 (複数回答可)	①妊娠したがHIV感染が心配	3例
	<ul style="list-style-type: none"> ・夫がコンドームを使わずに浮気をしていた。 ・産婦人科で母乳チェックということで看護師に乳首を素手で触られた。 	
	②他の性感染症に感染している	0例
	③中絶を検討している	0例
	④医療機関から保健所に相談するように勧められた	0例
⑤その他	4例	
<ul style="list-style-type: none"> ・産科開業医が実施したHIV関連検査について、妊婦並びに家族が納得できる説明を行えなかったため、疑問に感じた家族より保健所に相談がなされた。当該開業医は地域の拠点医療機関に紹介しており、同院で再検査を行いHIV感染は否定された模様。 ・夫の梅毒感染が判明し、HIV感染も心配とのことで、夫に検査させるため同行で来所。妊婦の検査はせず、産婦人科で梅毒の検査をすすめた。(夫HIV陰性のため) ・産科医療機関にて妊娠初期血液検査でHIV検査結果偽陽性になり、医師から説明は受けたが、本人、家族がショックを受けている。この結果がどのようなものか教えてほしい。(夫より相談) 		

表2

妊婦のHIV/エイズの相談事例(検査のみ) 10例

【年代】	26～35歳	3例
	16～25歳	2例
	10代	1例
	20代	1例
	30代	2例
	不明	1例

【国籍】	日本籍	7例
	外国籍	1例
	不明	2例

【妊娠月数】	2ヶ月	1例
	3ヶ月	1例
	9ヶ月	1例
	4週	1例
	7週	1例
	12週	1例
	38週	1例
	不明	3例

【産科受診】	あり	5例
	不明	5例

【パートナーの同伴検査】	あり	1例
	なし	9例

【HIV/エイズ相談】	あり	0例
	なし	9例
	不明	1例

【検査理由】 (複数回答可)	①妊娠したがHIV感染が心配	6例
	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者がHIV検査未検。念のため。 ・2年前コンドームなしの性交渉があったため。 ・夫の風俗が心配なため ・妊娠は最近分かった。1か月前に海外で性的接触があった。 ・結婚前の元彼とセックスしたので母子手帳を作る前に検査を受けたい。 ・語らず 	
	②他の性感染症に感染していたため	0例
	③医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため	2例
	<ul style="list-style-type: none"> ・半年くらい前まで風俗店で働いていた。3～4ヶ月前39度代の熱と全身に発疹の症状あり。産婦人科で相談したら、HIV検査を勧められた。 ・スクリーニング(+)だったことを訴えられ受検されました。 	
	④医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため	0例
	⑤まだ医療機関に受診していないため	0例
	⑥検査を受けたいがどこで受けたらよいか分からないため	0例
	⑦妊娠後の性交渉による新たなHIV感染が心配なため	0例
	⑧中絶を検討しているため	1例
⑨その他	3例	
<ul style="list-style-type: none"> ・国内・海外で1年以上前に外国籍の男性と性行為があった。 ・感染不安あり。理由は語らず。妊婦健診の項目にあることは分かっているが家族に秘密にして検査結果を早く確認したい。 ・不安なことはないが、妊娠をきっかけに検査を希望した。 		

表3

妊婦のHIV/エイズの相談事例(相談+検査) 20例

【年代】	16～25歳	8例
	20代	1例
	26～35歳	6例
	30代	1例
	不明	4例
【国籍】	日本籍	14例
	不明	6例
【妊娠月数】	初期	1例
	2ヶ月	1例
	8週	1例
	4ヶ月	2例
	5ヶ月	1例
	6ヶ月	1例
	7～8ヶ月	1例
	9ヶ月	3例
	38週	1例
不明	8例	
【産科受診】	あり	17例
	なし	1例
	不明	2例
【パートナーの同伴検査】	あり	2例
	なし	15例
	不明	3例
【HIV/エイズ相談】	あり	19例
	不明	1例

【検査理由】	①妊娠したがHIV感染が心配 12例
(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・産科でHIV検査の結果待ちの状態。保健所でのHIV即日検査を受けることによって事前に感染の有無を知っておきたい。 ・産科でHIV検査を実施する前に感染の有無を知っておきたい。 ・他の授乳中の方の母乳が飛び散り目の中に入ったから。 ・2～3ヶ月前に針刺し事故あり。直後は陰性であったが、その後のフォローなく心配で受検に来所。 ・針刺し事故疑い。 ・病院での検査時期が数か月先のため。 ・病院での検査時期がまだなので。 ・クラミジアに感染したことが妊婦健診で分かり、他の感染症の検査も受けたかった。 ・医療機関で検査は実施すると説明があったが、早く調べたかったので。 ・胎児の父親とは別の人と性的接触があり、コンドームは使用しないこともあったため。 ・産休前に針刺し事故があったため ・以前セックスワーカーだった。

②他の性感染症に感染していたため	3例
・クラミジア	
③医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため	0例
④医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため	2例
<ul style="list-style-type: none"> ・産休前に針刺し事故があったため ・妊婦健診でHIV偽陽性という結果が出た。精密検査はお金がでることもあるので、病院ではまだ具体的な話にはならなかった。その前に無料でやっている保健所で検査をしようと思った。 	
⑤まだ医療機関に受診していないため	0例
⑥検査を受けたいがどこで受けたらよいか分からないため	0例
⑦妊娠後の性交渉による新たなHIV感染が心配なため	1例
<ul style="list-style-type: none"> ・先日自分と夫がクラミジアで内服。H25.4月の検査以前(昨年9月)の性交渉のことが心配になった。妊娠前かもしれません。不明。 	
⑧中絶を検討しているため	0例
⑨その他	12例
<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦が看護職であり、職場で私物を片付け中、針刺したかもしれないとの心配。 ・人に勧められた。妊娠をきっかけに。 ・妊娠時に一度検査したが念のために検査したい。 ・勤務していた医療機関で産休直前に針刺し事故があり、B型肝炎検査は実施したが、HIV検査については検査は不要といわれたが、気になったため受検した。 ・飲酒した際、飲みすぎて記憶がないまま配偶者以外の男性と性交を行ったのでHIV感染が不安。 ・検査結果一次スクリーニングで陽性であったが、二次スクリーニング確認検査では陰性となった。 ・妊婦健診でHIV偽陽性という結果が出た。精密検査はお金がでることもあるので、病院ではまだ具体的な話にはならなかった。その前に無料でやっている保健所で検査をしようと思った。 ・母子シェルターに入所しており、職員に勧められて検査を知った。産婦人科の主治医より胎児の発育が不良で妊娠の継続は難しい可能性もあるといわれた。 ・先日自分と夫がクラミジアで内服。4月の検査以前の性行為のことが心配になった。 ・妊娠時の検査でHIV検査を受けたが不明だったので。 	